INSTRUCTION MANUAL／取扱説明書

MODEL ：

NPA-1-SB, SI, SPI



DATE OF ENACTMENT：

2023年04月03日制定

ISSUED BY：

NIDEC PRECISION CORPORATION

※　本内容は予告なく変更させれる可能性がございますのでご了承をお願いいたします。

1.3版

はじめに

取扱い説明書について

本書は主にカメラの使用方法について記載しています。
カメラの設定はメンテナンスモードというWebページを使って行います。
Webページ上での、LIVEモニターや設定などはPC環境、無線環境により影響を受けるため
動作が不安定になる場合がございますのでご了解ください。

本書は細心の注意をもって準備されていますが、その内容について保証するものではありません。
誤りや欠落を見つけた場合には、当社へお知らせください。

当社は、いかなる技術上または印刷上の誤りについても一切責任を負わず、
本製品および本書に予告なく変更を加える権利を留保します。

本書の記載内容に関して、いかなる種類の保証もいたしません。
本書の記載内容にしたがった機器の設置、性能、使用に関する
間接的損害または結果的損害に責任も義務も負わないものとします。
本書の使用およびその結果については、全てユーザーが責任を負うことになります。

本製品について

本製品は、取扱い説明書に記載の手順にしたがって使用する必要があります。
本製品には、ユーザーが修理できる部分は含まれていません。
本製品を権限なく変更または改修すると、適用される全ての規制上の認証や認可が無効になります。
当社の許可なくソフト、取扱説明書の全部または一部を改変し、
複製し、複製物を配布することはできません。

本製品は、日本国内でのみ使用可能です。
日本以外の国で本製品を使用した場合、全てユーザーが責任を負うことになります。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows および Windows 10 は、米国または他国における
  Microsoft Corporation の登録商標です。
- Google Chromeは Google LLC の商標です。
- microSD™　はSDアソシエーションの登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

ソフトウェアのライセンスについて

本製品には、ライセンスされたサードパーティーソフトウェアが含まれています。

サポートについて

技術サポートが必要な場合は、下記へお問い合わせください。

webページアドレス
https://www.nidec.com/jp/nidec-precision/inquiry/

お電話でのお問い合わせ
03-3965-1261
受付時間　9：00～17：30（土日祝除く）

目次

安全上の注意 P.3
microSDカードの取扱い注意事項 P.5
本体/付属品 P.6
1.各部の名称と機能 P.8
2.カメラの電源をOnする
2.1 microSDカードの挿入 P.9
2.2 microSDカードの取り外し P.10
2.3 カメラへの電源接続手順 P.10
2.4 録画開始について P.10
3.カメラの電源をOffする
3.1 カメラからの電源取り外し手順 P.11
3.2 録画停止について
4.本機の基本設定を行う
4.1 カメラとコンピューターを無線接続する P.12
4.2 メンテナンスモードを起動する P.13
5.ネットワーク設定
5.1 APモードに設定する P.14
5.2 設定変更後にメンテナンスモードを起動する(APモード) P.15
5.3 STATIONモードの設定をする P.16
5.4 設定変更後にメンテナンスモードを起動する(STATIONモード) P.17
5.5 RTSPのユーザー認証機能の設定方法 P.18
6.システム設定
6.1 時刻設定 P.19
6.2 カメラ名および各種製品設定の確認 P.20
6.3 工場出荷時状態へのリセット P.20
6.4 Alive monitor P.20
7.Video&Audio設定
7.1 Live View設定 P.21
7.2 画像の切り出し設定 P.22
7.3 画像調整(回転、反転) P.23
7.4 各項目の切り替え時の画像 P.24
8.メンテナンスモードログイン時のUser NameとPasswordの変更 P.25
9.録画の開始・停止、スナップショット、録画データの削除
9.1 microSD Cardのmounted、unmounted P.26
9.2 スナップショットの設定 P.27
9.3 暗号化機能の設定 P.27
9.4 録画を開始/停止 P.28
9.5 録画データの削除(microSDカードのフォーマット) P.28
9.6 録画ファイルのダウンロード P.28
10.プライバシーシャッタの操作 P.29
11.各種入力規定 P.30
12.mp4動画データの再生方法 P.31
13.ネットワークストリーム再生方法
13.1 認証モードなし設定での再生方法 P.32
13.2 認証モードあり設定での再生方法 P.34
14.推奨microSDカードについて
14.1 推奨スペック P.35
14.2 microSDカードの録画時間目安 P.35
15.インジケータの説明
15.1 インジケータ緑点灯時のカメラの状態 P.36
15.2 インジケータ赤点灯（エラーモード）時のチェック項目 P.36
16.工場出荷状態への戻し方 P.37
17.製品の仕様 P.38
18.用語集 P.39
19.FAQ P.40
20.変更履歴 P.41

安全上の注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に正しくお使いいただき、
物的損害を未然に防止するためのものです。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を
次の表示で区分し、説明しています。

いずれも安全に関します重要な内容ですので、必ず守ってください。

［危険］誤った取扱いをすると
「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。

［警告］誤った取扱いをすると
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

［注意］誤った取扱いをすると
「傷害を負う可能性または物理的損害の発生の可能性が想定される」内容です。

危 険

- 本機は必ず定められた電圧（DC5V）でご使用ください。
  火災や感電、故障の原因となります。
- 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
  ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。
- 水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。
  火災や感電、故障の原因となります。

警 告

- 本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。
  誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。
  火災、感電、および故障の原因となります。
- 本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、
  すぐに使用を中止してください。
  火災などの原因となります。
- 本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。
  製品の変形および火災、爆発の原因となります。
- コードを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。
  また破損やキズが付いたコードは使わないでください。
  コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。
- レンズ部分には直接手で触れないでください。
- 電源コードまたはソケット部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
  接続不良による感電および火災の原因となります。
- 本機を長時間動作した場合や暗い場所での撮影時に発熱します。直接手で触れないでください。

注 意

- 本機に強い衝撃を与えないでください。
  衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- 本機の近くに磁気性がある物を置かないでください。
  製品の誤作動および故障の原因となります。
- 本機の近くには障害になるような物を設置しないでください。
  周りに障害物があると通信機能に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 無線LAN機能は起動するまでに時間がかかります。
  受信環境、気象状況などにより、数秒から数十秒がかる場合があります。
- 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
  故障の原因となり保証を受けることができません。
- 気温の低いところから高いところに本機を移した場合、
  本機内に結露が生じることがあります。
- 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください
- 本カメラをPCのUSBポートを使って電源Onした場合、正常に動作しない可能性があります。
- カメラ本体は高温になるため、必ず、専用放熱取付アタッチメントを取り付けてご使用ください。
- カメラの裏面は高温になり、カメラ本体を長時間持つと低温やけど等になる場合がございます。
  そのため、カメラ本体を直接手で持ってのご使用はお控えください。
- 録画データのDL中や、ファームアップデート中に電源ケーブルの抜去はしないでください。
- 録画（Recording）中のファイルはDLできません。
- 録画（Recording）中に、録画済みファイルのDLを実行すると、
  無線LANが切断される可能性があります。
  DLしたい場合は、Recording stop 状態にしてからファイルのDLをお願い致します。
- メンテナンスモードに表示される時刻は、電源抜去でリセットされることがあります。
- SDカードの品質により、正常に録画されない場合があります。
- SDカードの差込み、取り出しは、必ず電源Off状態でおこなってください。
- 無線LANの状況により、フレーム落ちや、画面停止が発生することがあります。
- DLは無線の状況により時間がかかる場合があります。
  映像転送レート約１Mbps　程度になる場合がございます。
- 30FPSモードの場合、カメラ自体がより高温になるため、ご注意ください。
- 録画（Recording）中に電源Off状態になった場合、
  録画中のファイルは再生できない可能性があります。
- 電源Off状態が長時間続いた場合、電源Offする毎に
  時刻設定がリセットされてしまう状態になってしまう可能性がございます。
- 動画のDL中にDLのキャンセルボタンを押すと、キャンセル処理に時間がかかる場合があります。
- 録画データのDL中に、別の録画データのDLは実行しないでください。

microSDカードの取り扱い注意事項

microSDカードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。
注意事項を守らずに発生するデータの損失、破損に関して当社は一切の責任を負いません。
microSDカードをフォーマットすると記録ファイルは全て消去されます。
あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

次の内容はしてはいけない「禁止」の内容です。

- microSDカードスロットに異物を入れないでください。
  カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
- 油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。
  microSDカードの損傷、または故障などの原因となります。
- データのバックアップ、フォーマットおよび動作中は、
  絶対にmicroSDカードを取り出さないでください。
  microSDカードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- microSDカードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
  microSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
  microSDカードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。

次の内容は必ず実行していただく「強制」の内容です。

- microSDカードの取り出しは、必ず本体の電源が切れたことを確認してから行ってください。
  本体に電源が入った状態でmicroSDカードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
- 一般的に microSDカードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
  microSDカードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因で
  データに異常が発生した場合、新しい指定のmicroSDカードと交換してください。
- microSDカードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
  ケースに入れずに保管または持ち歩くと、
  静電気などの外部環境の原因によりデータを損失することがあります。
- パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更(削除、追加、移動)しないでください。
  バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
- microSDカードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
  正しく動作しない場合があります。
- 指定の microSDカード以外は使用しないでください。
  指定以外のmicroSDカードを使用すると、正常に動作しない場合があります。

次の内容は気をつけていただきたい「注意」の内容です。

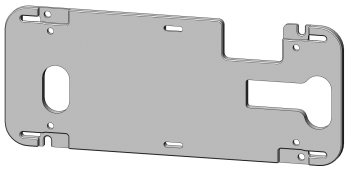
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能で行ってください。
- microSDカードは消耗品です。
  一定期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷し正常に録画できない可能性があります。
  microSDカードによる不具合が発生した場合は、新しいmicroSDカードと交換してください。
- microSDカードには向きがあります。
  挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
  microSDカードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
- microSDカードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
- microSDカードを別に購入する場合は、必ず使用可能か確認したうえでご購入ください。
  データ容量：32GB ～ 256GB、推奨スピードクラス：10以上
  必ず本体にてフォーマットをおこなってください。

本体/付属品

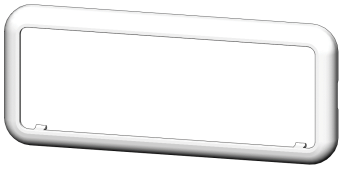
カメラ本体は、必ず、専用放熱取付アタッチメントを取り付けてご使用ください。
専用放熱取付アタッチメントはカメラの放熱機能も兼ねており、カメラ動作保証に必須のものです。
専用放熱取付アタッチメント無しでのご使用につきましては、動作保証できない場合が
ございますのでご注意ください。



□カメラ本体（NPA-1）



□　専用放熱取付アタッチメント



□　カバー

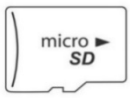


*4

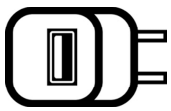
□　本体取り付けねじ　４個

オプション品（別売）

別途お買い求めください。

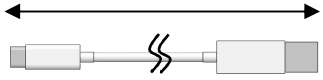


●microSDカード
容量：32～256GB



●USB電源5V　差込口TypeA
推奨スペック：5V/2.4A

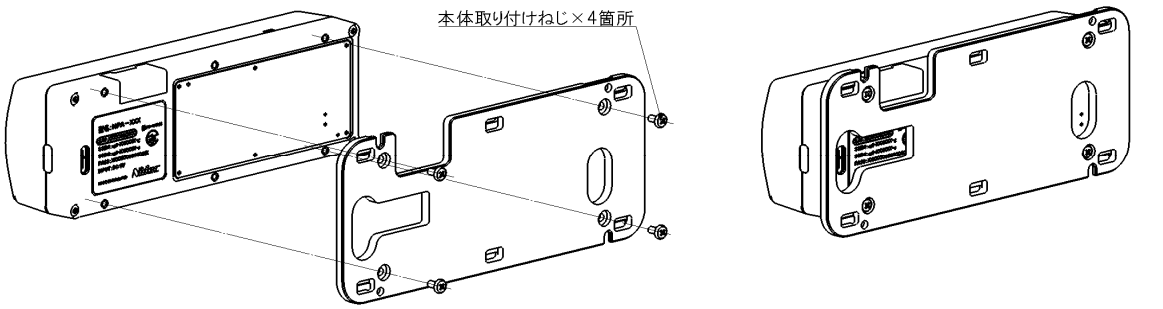
推奨ケーブル長さ：1m以下



●USBケーブルTypeC-TypeA

専用放熱取付アタッチメントの取り付け方

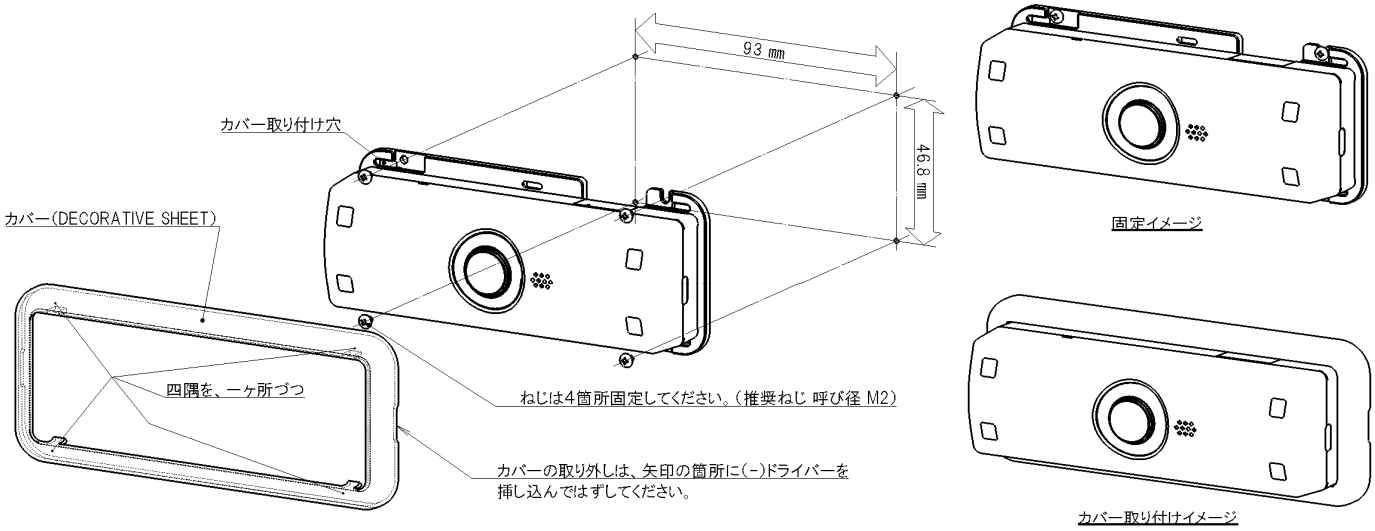
付属品のねじ４個で、カメラ本体をしっかりと専用放熱取付アタッチメントに固定してください。



※専用放熱取付アタッチメント取付後microSDカードを出し入れすることが
できなくなりますのでご注意ください。
※カメラの裏面は高温になり、カメラ本体を長時間持つと低温やけど等になる場合が
ございます。そのため、カメラ本体を直接手で持ってのご使用はお控えください。

カメラ本体、及びカバーの取り付け方

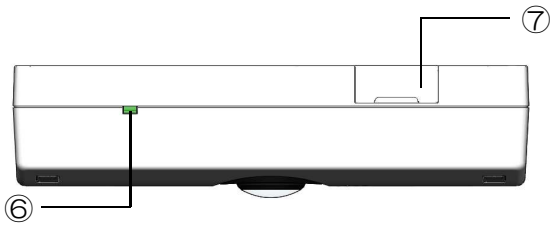
固定用のねじは、お客さまの設置個所に適したねじをお使いいただくようお願いしています。
材質により使用できるねじの種類が異なるため、商品に天井や壁への取り付けのためのねじを
同梱しておりません。
カバーは、必ず、「カチッ」っと音が鳴るまで押し込んでください。
四隅を一ヶ所づつ押し込んでいくと、簡単にはめることができます。



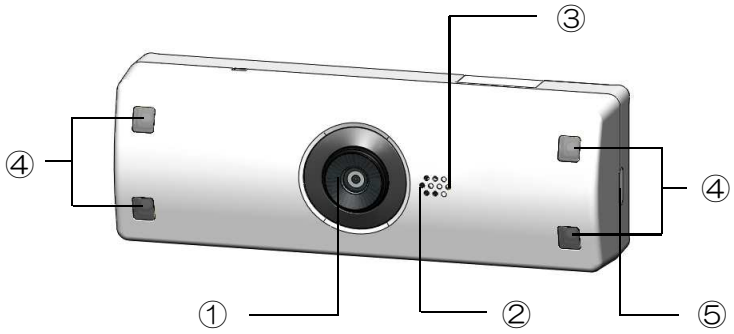
1.各部の名称と機能

1.1 カメラ各部の名称

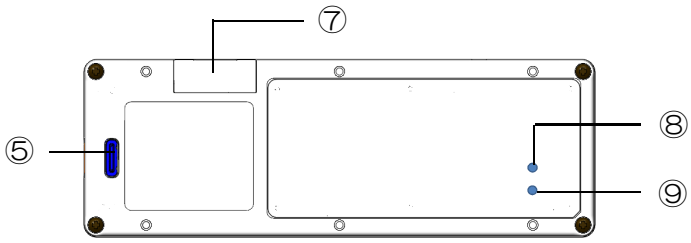
【側面】



【前面】



【裏面】



1.2 各部の機能

①カメラレンズ
※出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

②マイク
撮影時の音声を取り込みします。

③照度センサー
通常撮影モードと暗視撮影モードの
切替を検出します。

④赤外線LED
暗視撮影時、赤外線LEDが点灯します。

⑤USB端子
電源供給用USBケーブルの差込口です。
筐体横または、裏面の差込み口を使用します。

⑥インジケータ
本体の動作状態を表示します。
詳細は、P.36をご覧ください。

⑦microSDカード差込口
録画データ保存用microSDカードの差込口です。
microSDカードの推奨容量は32～256Gです。
microSDカードの挿入方法については、
P.9をご覧ください。

⑧リカバリーボタン
本機を工場出荷状態に戻します。
詳細は、P.37をご覧ください。

⑨リセットボタン
本機をリセットします。

2.カメラの電源をOnする

本カメラの録画、及び、各種設定の変更には下記の構成が必要です。

推奨のPC環境

OS	Windows 10
Webブラウザ	Google Chrome
動画再生ソフト	VLC Media Player
その他	無線LAN通信ができること

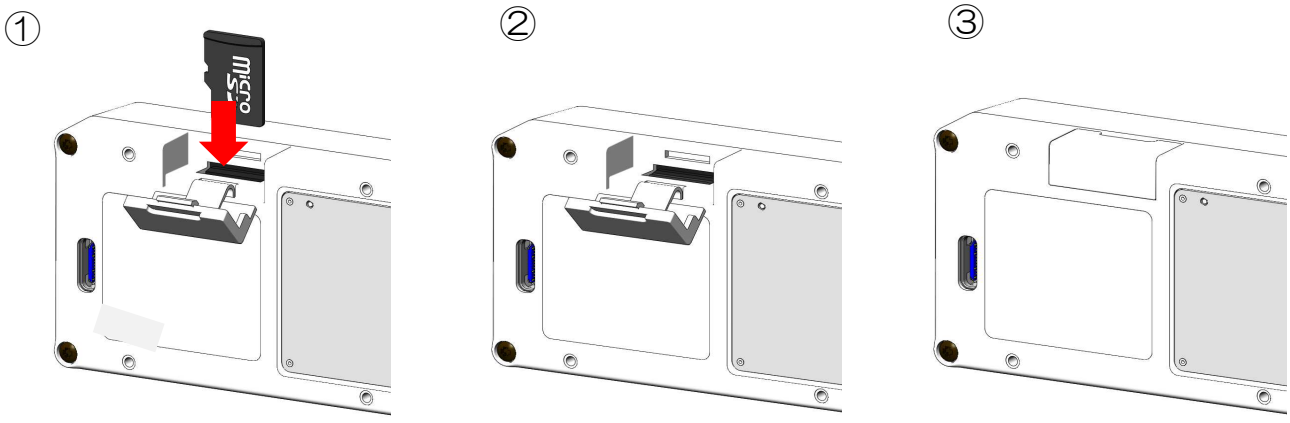
microSDカード（容量32GB以上）
USB電源　　（推奨：5V-2.4A）
USBケーブル　（推奨；カメラ側： type-C、電源側：type-A、長さ：1m）

構成イメージ図



2.1 microSDカードの挿入

※必ず、カメラ本体からUSBケーブルを外し、LEDが消灯して本体の電源がOffになっていることを確認してからmicroSDカードの挿入を行ってください。
microSDカードの挿入は専用放熱取付アタッチメント無しの状態で行ってください。
microSDカードは、以下の画像ではmicroSDの文字がない面が電極面となります。

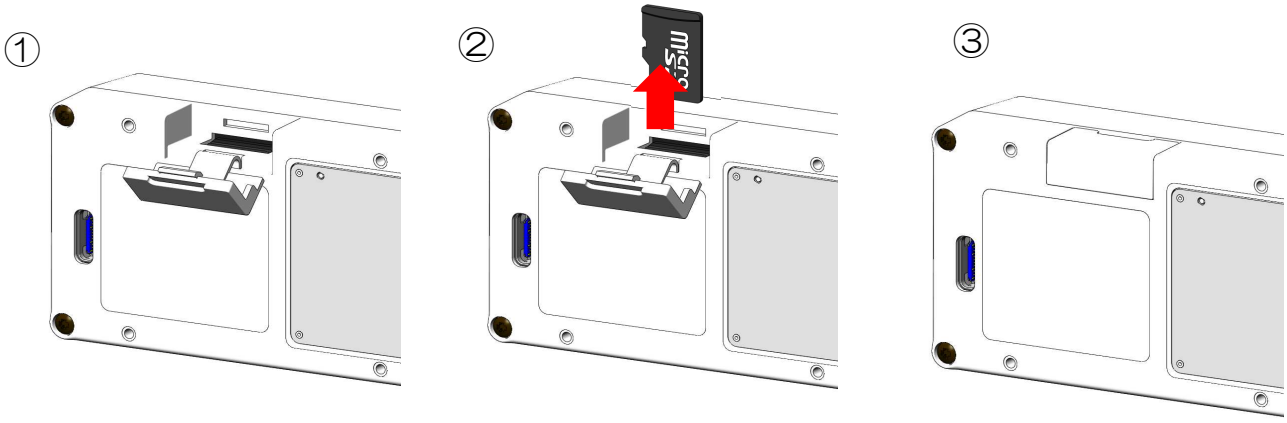


① microSDカードのカバーを開けます。
　microSDカード向きに注意してカチッと音がするまで、まっすぐ挿入してください。
② microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれていることを確認します。
③ microSDカードのカバーを閉じます。

2.カメラの電源をOnする（つづき）

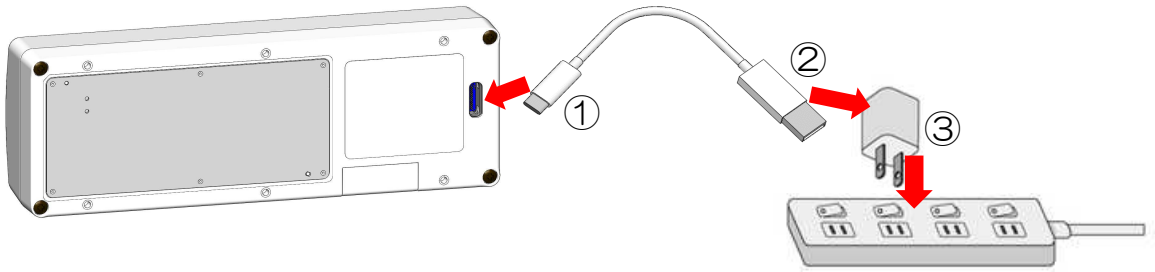
2.2 microSDカードの取り外し

※必ず、カメラ本体からUSBケーブルを外し、インジケータが消灯して
本体の電源がOffになっていることを確認してからおこなってください。
microSDカードの取り外しは専用放熱取付アタッチメント無しの状態で行ってください。
microSDカードは、以下の画像ではmicroSDの文字がない面が電極面となります。

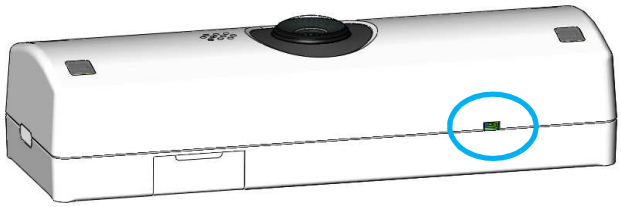


① 本体のスロットカバーを開き、microSDカードを軽く押します。
② microSDカードを取り出します。
③ microSDカードを取り出した後、スロットカバーを閉じます。

2.3 カメラへの電源接続手順



① USBケーブルTypeC側をカメラへ接続します。
② USBケーブルTypeA側をUSB電源へ接続します。
③ USB電源をコンセントへ接続するとカメラの電源がOnします。



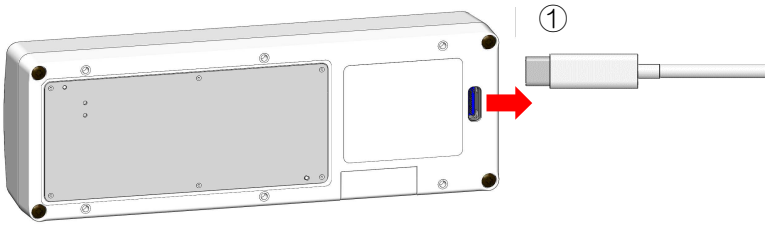
カメラの電源がOnしてから約15秒でインジケータが緑点灯します。
インジケータが緑点灯になるとカメラの起動が完了です。

2.4 録画開始について

工場出荷時のデフォルト設定は電源がOnしてから60秒後に、自動で録画を開始します。
停電時等からの電力復旧後は、自動で録画を再スタートします。

microSDカードの空き容量が1G以下になった場合、
古いファイルを自動的に削除して録画を継続します。
録画データの削除方法の詳細は、P.28をご覧ください。

3.カメラの電源をOffする
3.1 カメラからの電源取り外し手順



① カメラからUSBケーブルを取り外します。
約15秒でインジケータのLEDが消灯してカメラの電源がOffになります。

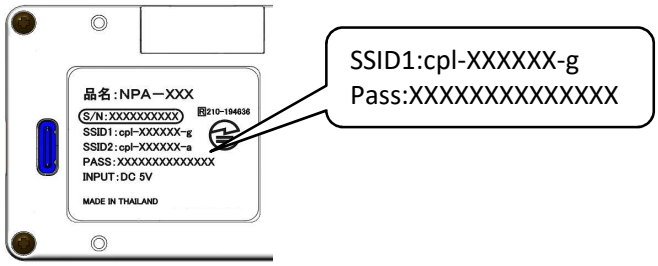
3.2 録画停止について
録画の停止、及び、再スタートは、webページのメンテナンスモードより操作できます。
詳細はP.28をご覧ください。

4.本機の基本設定

4.1 カメラとコンピューターを無線接続する

4.1.1 SSID、Passwordの確認

※SSIDはカメラ背面に記載のSSID1:cpl-XXXXXX-g



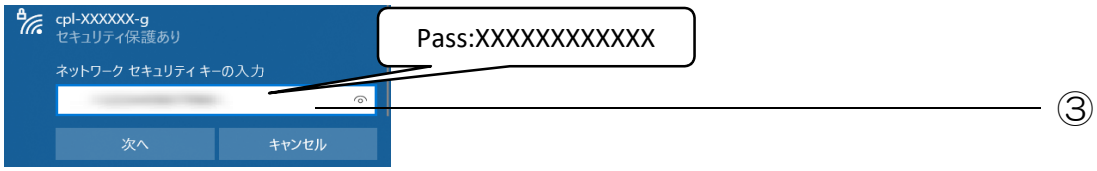
4.1.2 コンピュータのSSIDの選択



① コンピューターで無線LANアイコンをクリックします。

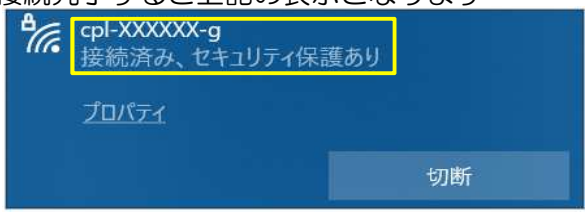
② 4.1.1項で確認したSSIDを選択し接続をクリックします。

4.1.3 Passwordを入力します



③ 4.1.1項で確認したPasswordを入力し接続をクリックします。

4.1.4 接続完了すると上記の表示となります



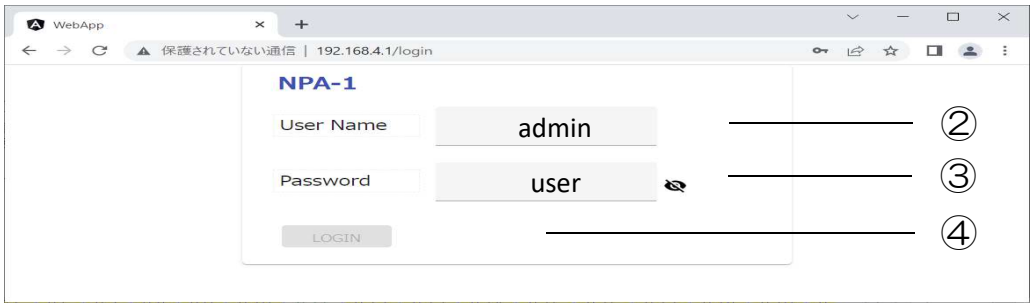
4.2 メンテナンスモードを起動する
カメラの設定変更を行うメンテナンスモードを起動します。

4.2.1 メンテナンスモードのLogin画面へアクセスする

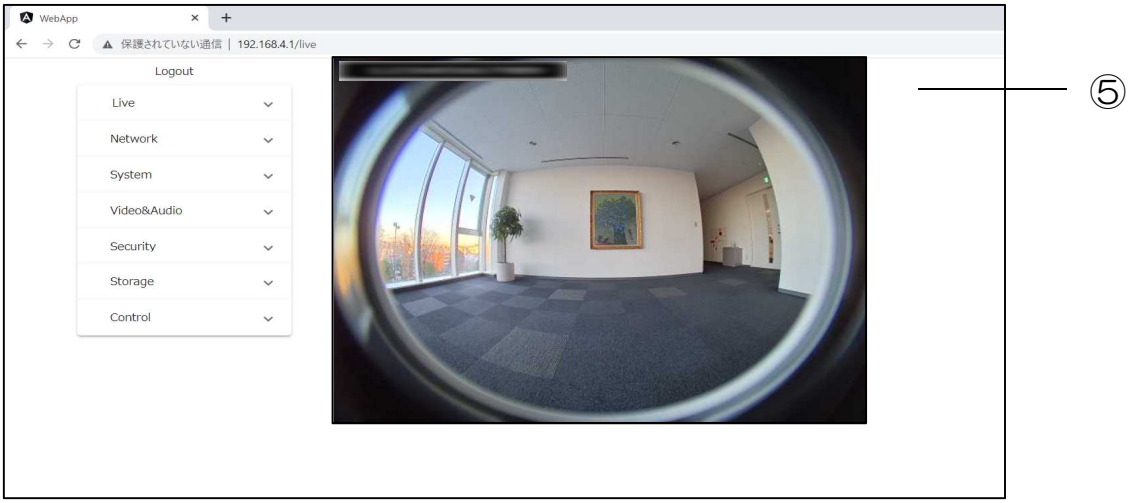


① コンピューターでWebブラウザ(Google Chromeなど)を起動し、
カメラのIPアドレスをアドレス欄に入力します。
IP Address：192.168.4.1

4.2.2 User Name、Passwordを入力しLoginする



② User Name(初期設定値は[admin])を入力します。
③ Password(初期設定値は[user])を入力します。
④ Loginをクリックします。



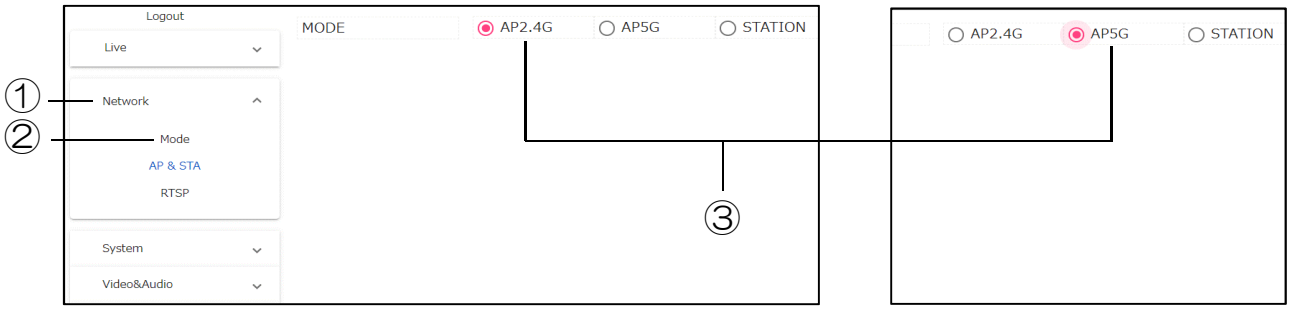
⑤ Login後、メンテナンスモード画面が表示されます。
※上画像は、SPIモデルでの撮影画像となります。

5.ネットワーク設定

本項ではメンテナンスモードを使用した本製品の設定について記載しております。
お使いの環境、用途に合わせてAPモード、STATIONモードのいずれかを選択し、
以下の項目の内容にしたがって設定を行ってください。
APモードの設定および接続方法　　：5.1，5.2項
STATIONモードの設定および接続方法：5.3，5.4項
APモード、STATIONモードの意味に関してはP.39用語集を参照してください

5.1 APモードに設定する

5.1.1 動作周波数を設定する



① Networkのタブを選択します。
② Modeのタブを選択します。
③「AP2.4G」または「AP5G」どちらかを選択します。
※工場出荷時は、AP2.4Gに設定されています。
※本製品の5GHz帯は、屋外で使用しないでください。

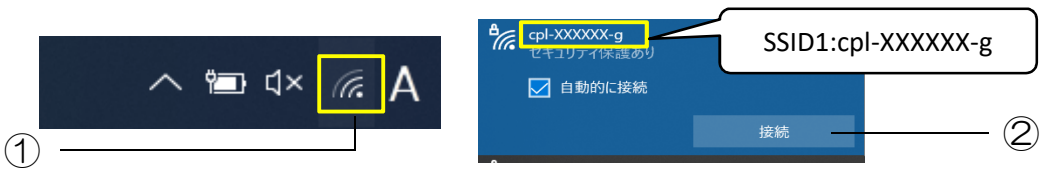
5.1.2 SSID, Password,Channelを設定する



④ AP&STAのタブをクリックします。
⑤ APモード2種(2.4GHz、5GHz)、STAモードそれぞれの設定ページへ切り替えられます。
本項はAPモードの設定に関する項のため、
AP(2.4GHz)またはAP(5GHz)のどちらかを選択します。
⑥ ⑤で選択したAPモードにおけるSSIDの確認及び、変更ができます。
⑦ ⑤で選択したAPモードにおけるPasswordの確認及び、変更ができます。
※SSID,Passwordの文字入力規定はP.30「文字入力規定」をご覧ください。
⑧ Channelの設定ができます。
2.4GHz帯の無線では1～13 chまで選択できます。
5GHz帯の無線では以下のチャンネルが選択できます。
• 5.2GHz帯（W52）：36,40,44,48
※本製品の5GHz帯は、屋外で使用しないでください。
⑨ SSID及び、Passwordを変更した場合はSetをクリックします。
※Setをクリックすると変更前の設定が消えるため、変更前の設定の記録を推奨します。
入力文字規定を満たしていない場合はSetをクリックできません。
変更しない場合は⑩を行ってください。
⑩ Logoutをクリックし、設定完了です。
Logoutするとカメラが設定反映のため、自動で再起動を行います。
再起動後、ネットワークへ再度接続してください。詳細はP.15をご覧ください。

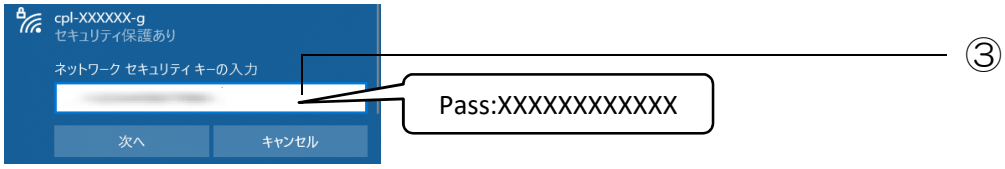
5.2 設定変更後にメンテナンスモードを起動する（APモード）

5.2.1 SSIDを選択する



① パソコンのタスクバーにある無線LANアイコンをクリックします。
② 4.1.1項で確認したSSIDを選択します。
5.1.2項⑥で変更した場合は変更後のSSIDを選択します。

5.2.2 Passwordを入力する



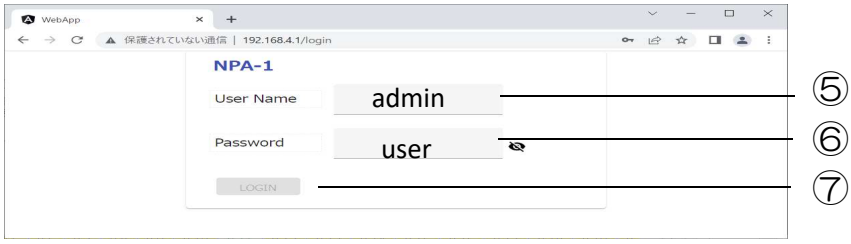
③ 5.1.2項⑦で変更した場合は変更後のPasswordを入力します。

5.2.3 メンテナンスモードのLogin画面へアクセスする



④ コンピューターでWebブラウザ(Google Chromeなど)を起動し、
カメラのIPアドレスをアドレス欄に入力します。
IP Address：192.168.4.1

5.2.4 User Name、Passwordを入力しLoginする



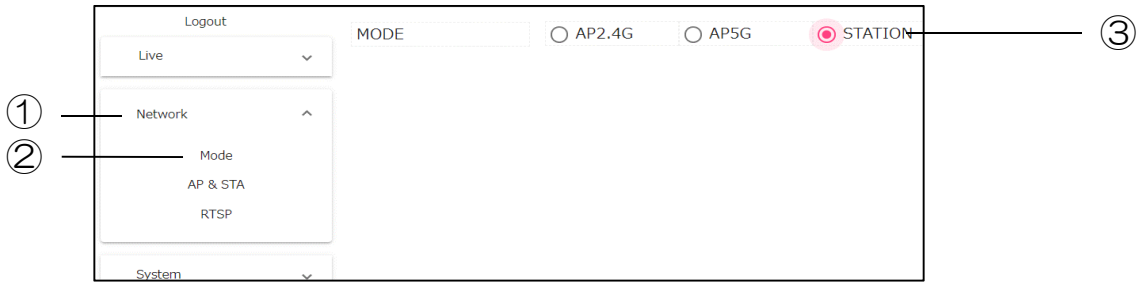
⑤ User Name(初期設定値は[admin])を入力します。
⑥ Password(初期設定値は[user])を入力します。
⑦ Loginをクリックします。



⑧ Login後、メンテナンスモード画面が表示されます。
※上画像は、SPIモデルでの撮影画像となります。

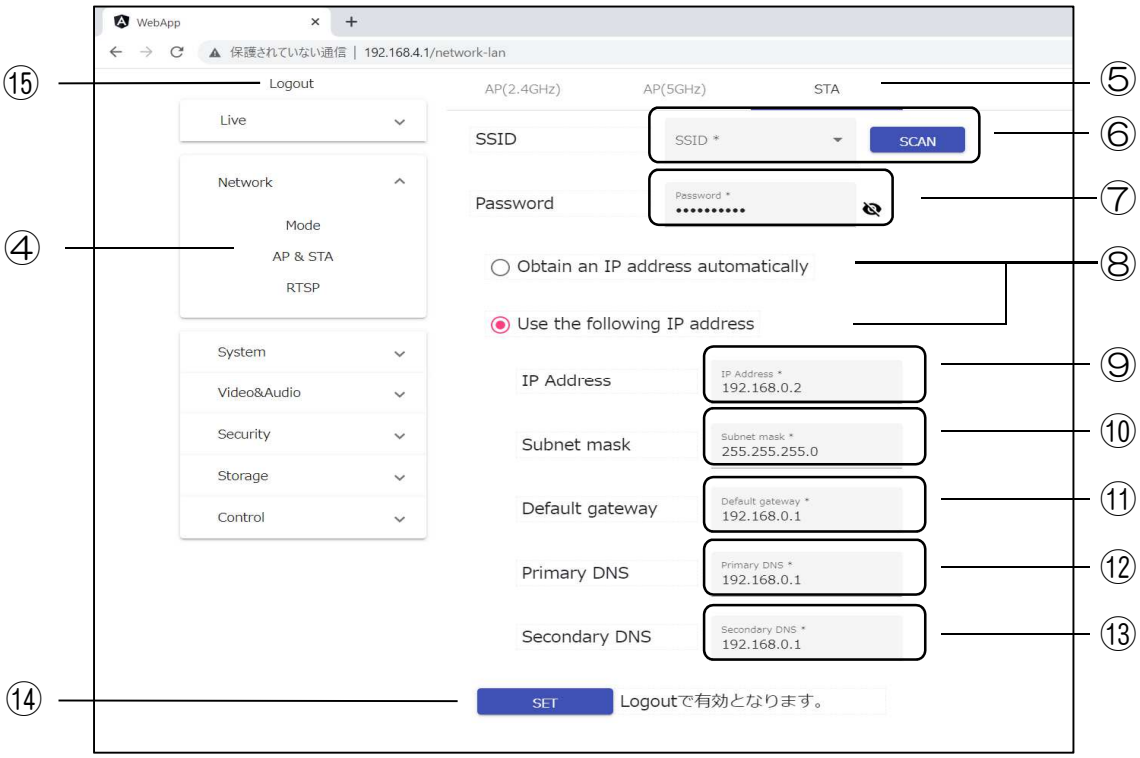
5.3 STATIONモードの設定をする

5.3.1 STATIONモードへ切り替える



① Networkのタブを選択します。
② Modeのタブを選択します。
③「STATION」を選択します。
※工場出荷時は、AP2.4Gに設定されています。

5.3.2 STATIONモードの各種の設定をする



④ AP&STAのタブを選択します。
⑤ STAを選択します。
⑥ Scanをクリック後、▼をクリックし接続するアクセスポイントのSSIDを選択します。
⑦ アクセスポイントのPasswordを入力します。
※SSID,Passwordの文字入力規定はP.30「文字入力規定」をご覧ください。
⑧ 自動で⑨～⑬を設定する場合は、
″Obtain an IP address automatically″を選択し、⑭へ移動してください。
手動で⑨～⑬を設定する場合は、″Use the following IP address″を選択します。
⑩～⑬はご使用環境に依存しますので、ネットワーク管理者などに問い合わせてください。
⑨ IP Addressを設定します。
⑩ SubNetmaskを設定します。
⑪ Default gatewayを設定します。
⑫ Primary DNSを設定します。
⑬ Secondary DNSを設定します。
⑭ Setをクリックします。⑥～⑬いずれかを変更する場合も変更後、Setをクリックします。
※Setをクリックすると変更前の設定が消えるため、変更前の設定の記録を推奨します。
⑮ Logoutをクリックし、設定完了です。
Logoutするとカメラが設定反映のため、自動で再起動を行います。
再起動後、ネットワークへ再度接続してください。詳細はP.17をご覧ください。

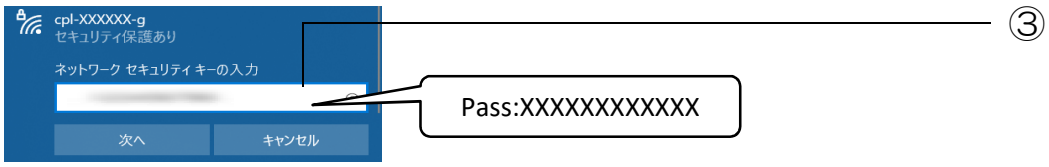
5.4 設定変更後にメンテナンスモードを起動する（STATIONモード）

5.4.1 SSIDを選択する



① パソコンのタスクバーにある無線LANアイコンをクリックします。
② P.14-5.3.2項⑥で設定したSSIDを選択します。

5.4.2 Passwordを入力



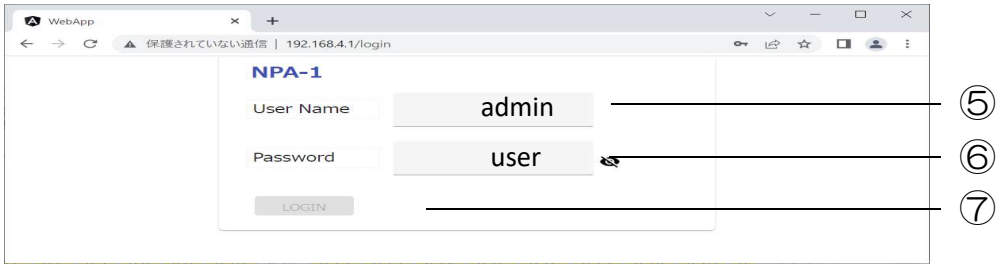
③ 5.3.2項⑦で設定したPasswordを入力します。

5.4.3 メンテナンスモードのLogin画面へアクセスする



④ コンピューターでWebブラウザを起動し、
5.3.2項⑨で設定したIPアドレスをアドレス欄に入力します。

5.4.4 User Name、Passwordを入力しLoginする

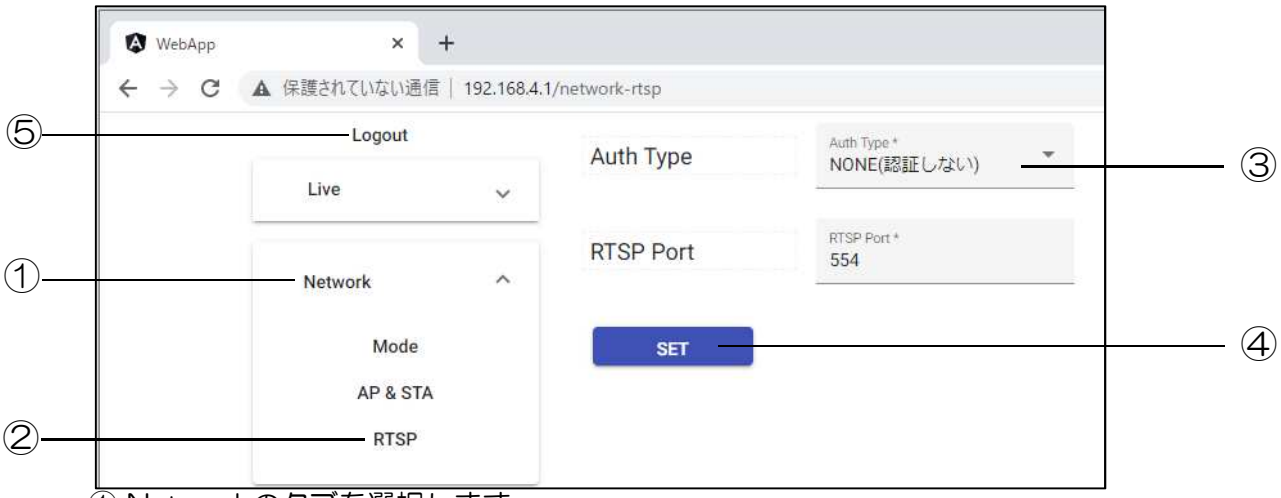


⑤ User Name(初期設定値は[admin])を入力します。
⑥ Password(初期設定値は[user])を入力ししします。
⑦ Loginをクリックします。



⑧ Login後、メンテナンスモード画面が表示されます。
※上画像は、SPIモデルでの撮影画像となります。

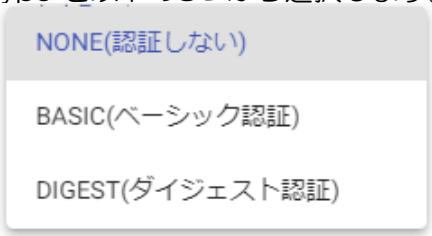
5.5 RTSPのユーザー認証機能の設定方法



① Networkのタブを選択します。

② RTSPのタブを選択します。

③ Auth Type を以下の3つから選択します。



④ SETボタンを押します。

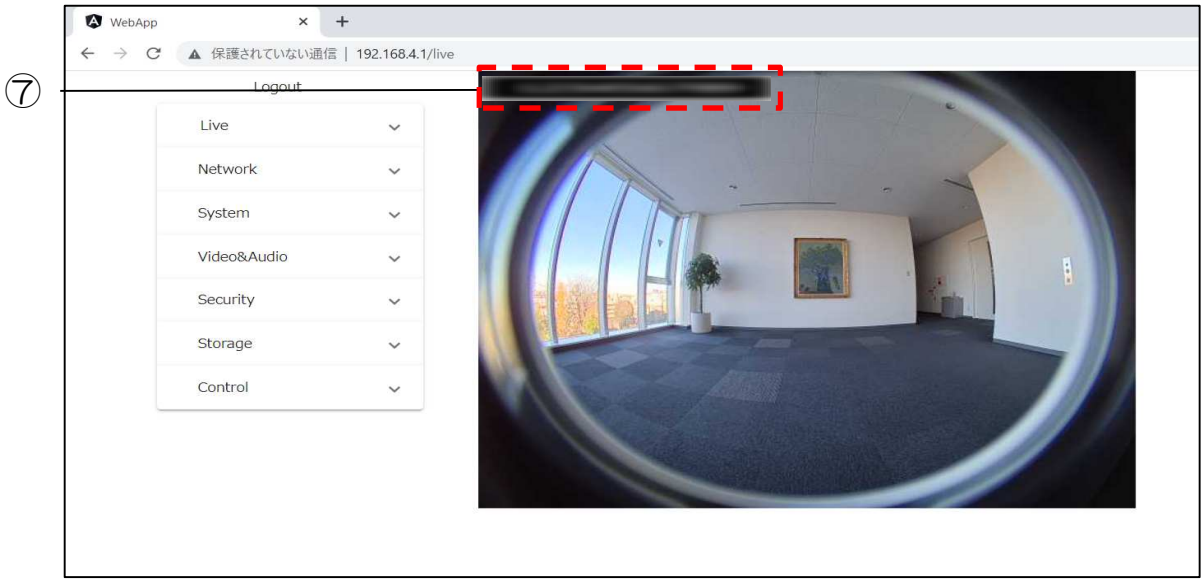
⑤ Logout 後に、再起動が行われて設定が反映されます。

ベーシック/ダイジェスト認証設定時のネットワークストリーム再生方法については、
P.34をご覧ください。

6.システム設定
6.1 時刻設定

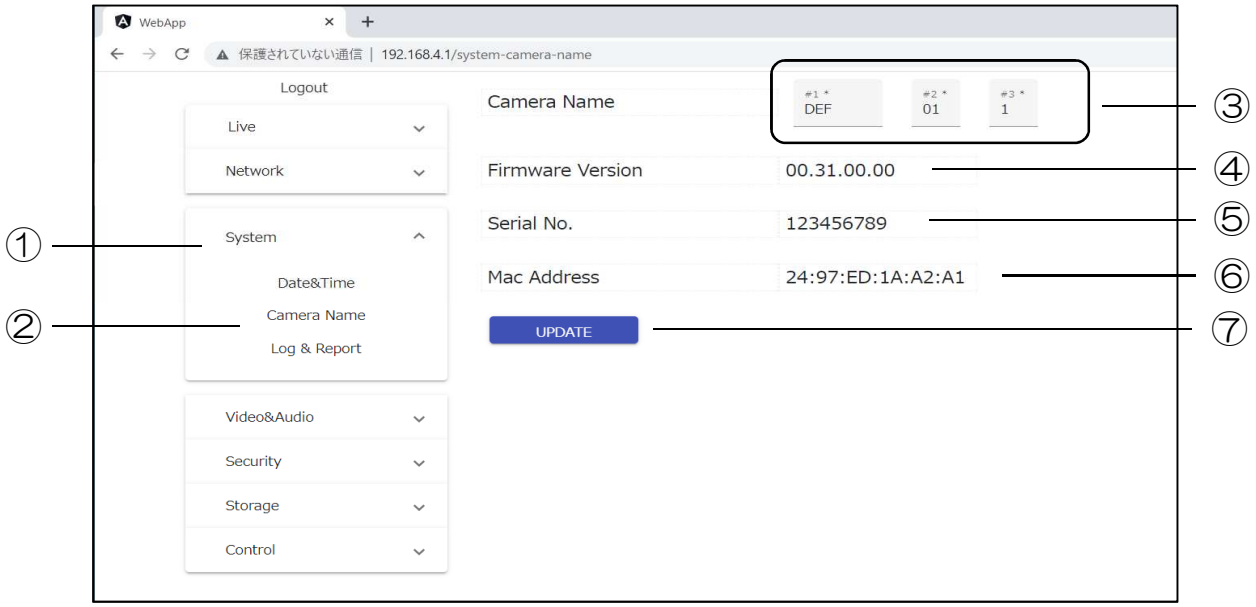


① Systemのタブを選択します。
② Date & Timeを選択します。
③ 現在時刻が表示されています。
※現在時刻は、ずれている場合があります。
時刻がずれている場合は、④または⑤を実施します。
④ 指定したサーバーから時刻を取得する場合は、
Synchronize with Serverを選択し、NTPサーバー名を入力します。
※APモードに設定している場合は、選択しても時刻は取得されません。
⑤ 接続したコンピューターから時刻を取得する場合は、
Synchronize with Computer timeを選択します。
⑥ ④または⑤を選択し、Updateをクリックします。
※カメラの電源がOFFになりますと、時刻が初期値に戻ることがありますので、
必ず時計合わせを、行ってください。



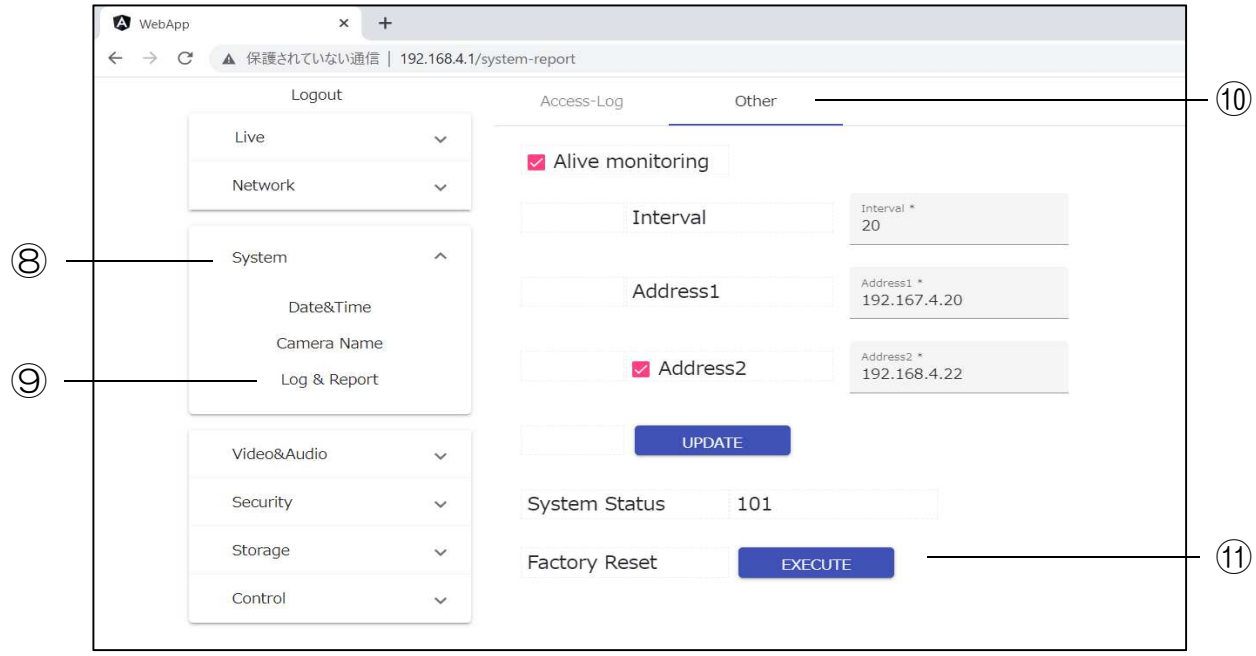
⑦ Liveビュー画面の左上に表示されている時刻が現在時刻に変更されます。
赤点線枠部分に表示されます。
※上画像は、SPIモデルでの撮影画像となります。

6.2 カメラ名および各種製品設定の確認



① Systemのタブを選択します。
② Camera Nameのタブを選択します。
③ Camera Nameを変更できます。
　録画ファイル名に反映されます。
　※Camera Nameの文字入力規定はP.30「文字入力規定」をご覧ください。
④ Firmware Versionが表示されます。
⑤ Serial No.が表示されます。
⑥ Mac Addressが表示されます。
⑦ カメラネームを変更した場合Updateをクリックすることで変更を反映します。

6.3 工場出荷リセット

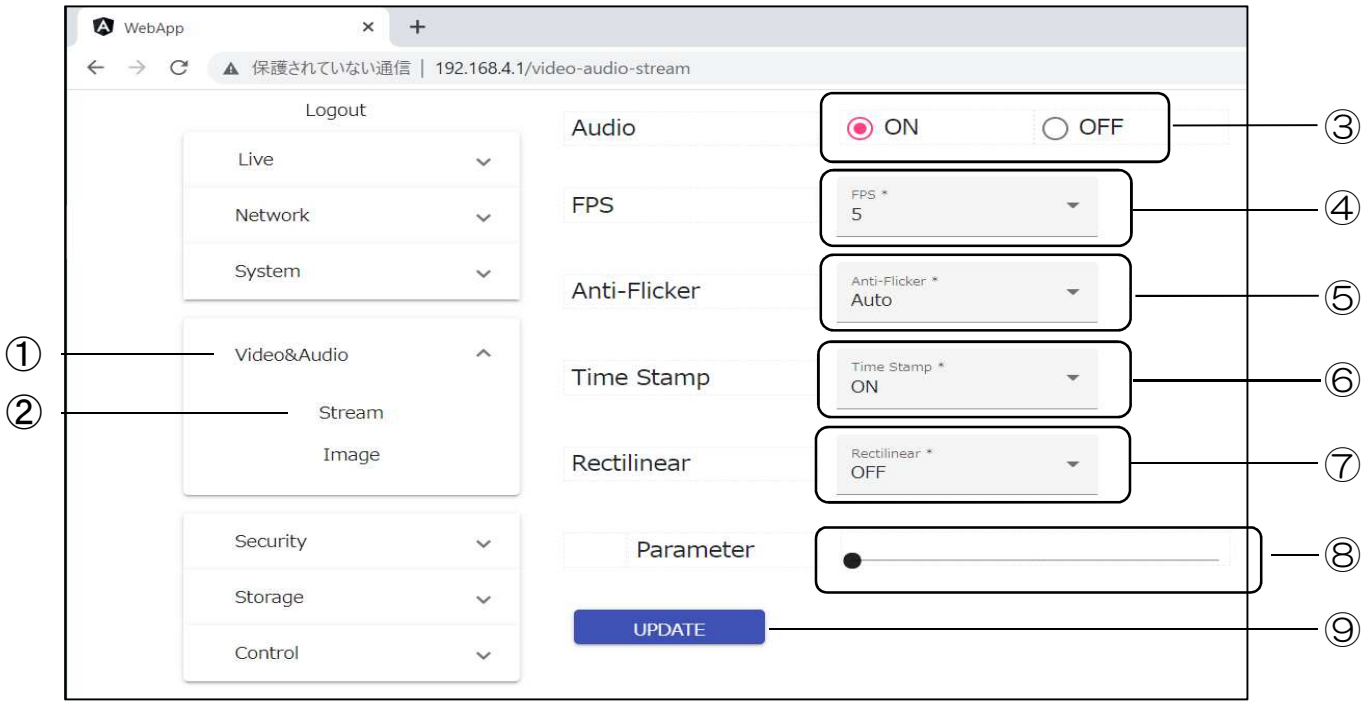


⑧ Systemのタブを選択します。
⑨ Log&Reportのタブを選択します。
⑩ Otherのタブを選択します。
⑪ Factory Resetの"EXECUTE"をクリックすると各種設定を工場出荷状態にリセットします。

6.4 Alive monitor

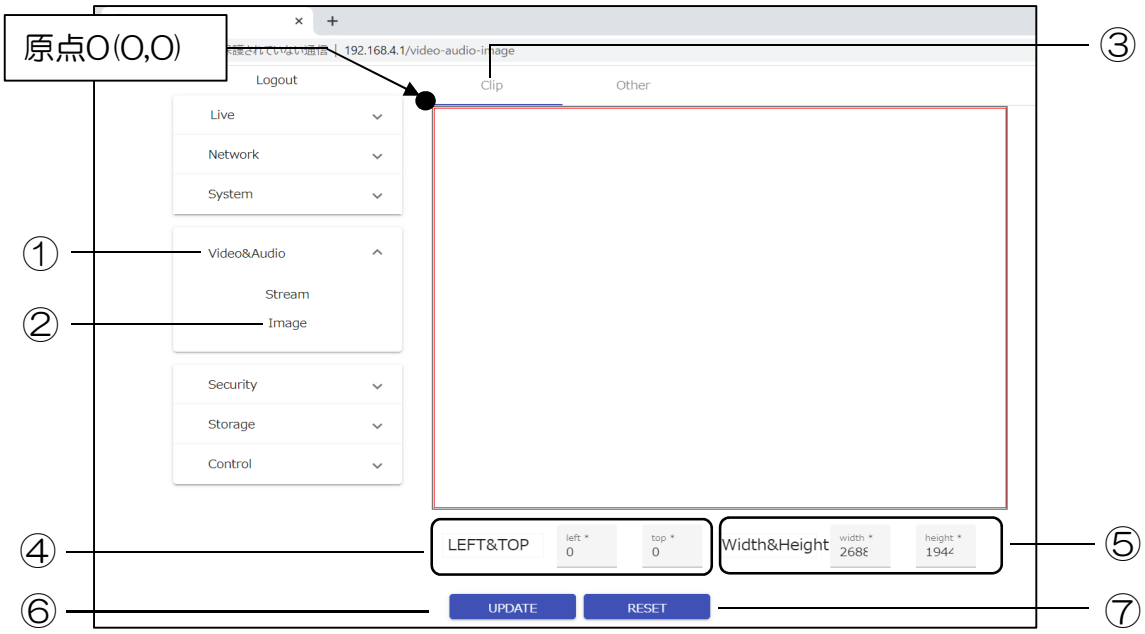
本項はカスタマイズ仕様となっております。詳細につきましては別途ご相談ください。

7.Video&Audio設定
7.1 Live View設定



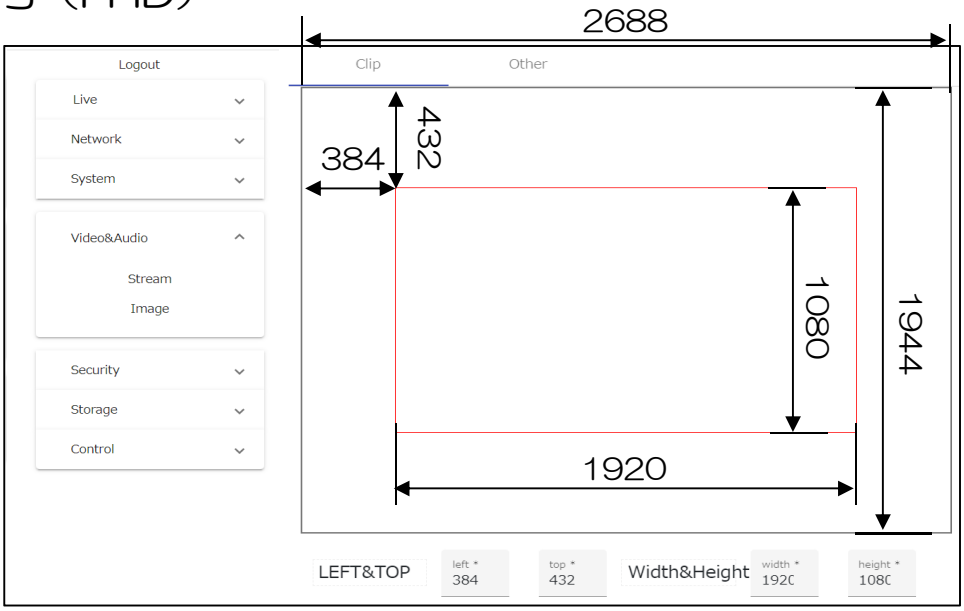
① Video&Audioのタブを選択します。
② Streamのタブを選択します。
③ マイクのOn/Offを設定できます。
④ ▼をクリックしFPSの設定を変更することができます。
※ 暗号化録画では5FPSのみとなります。
また 10、30FPSに設定するとNightビジョンには切り替わりません。
⑤ ▼をクリックし、Anti-Flickerの設定を変更することができます。
⑥ ▼をクリックし、Liveビュー画面のタイムスタンプ表示のOn/Offを変更できます。
⑦ ▼をクリックし、Rectilinear（映像の歪み補正）のOn/Offを設定することができます。
⑧ RectilinearのParameter（補正値）を変更できます。
⑨ Updateをクリックして設定反映完了します。

7.2 画像の切り出し設定



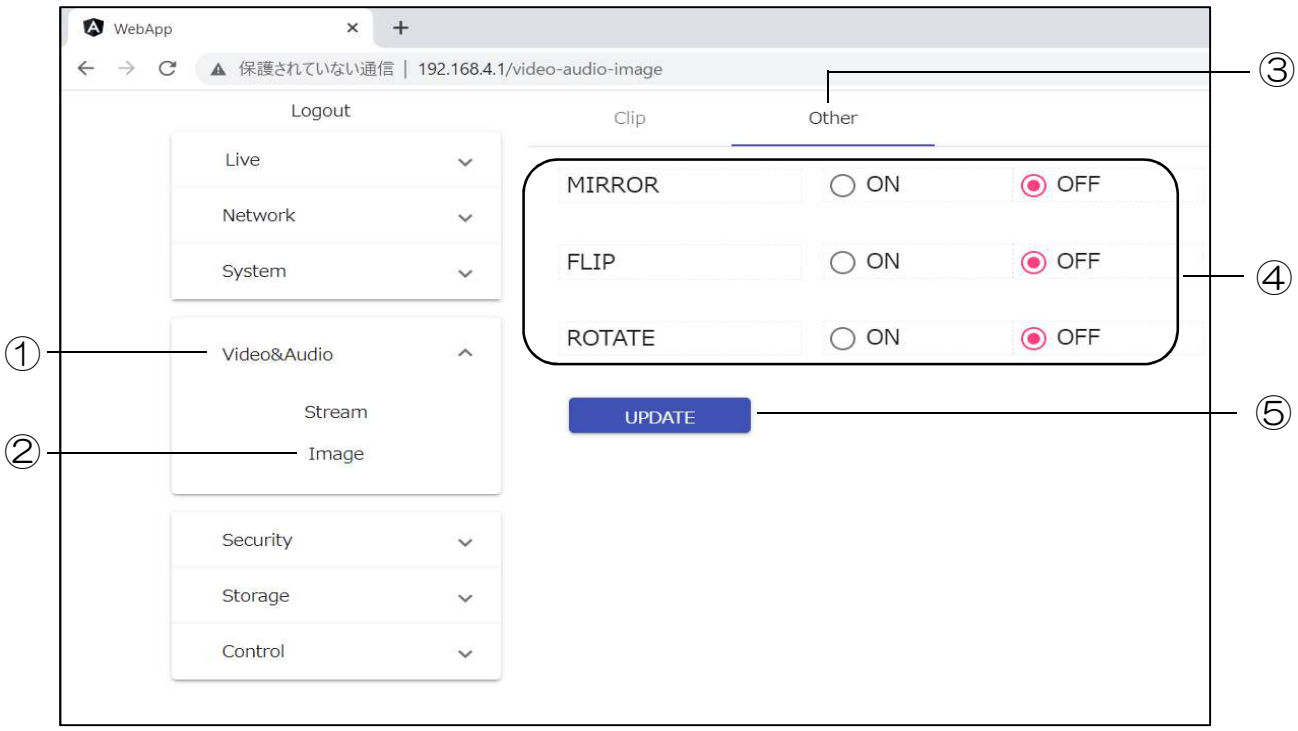
① Video & Audioのタブを選択します。
② Imageのタブを選択します。
③ Clipのタブを選択します。
④ Left&Topのパラメータを設定します。
⑤ Width&Heightのパラメータを設定します。
⑥ Updateをクリックして、設定反映完了します。
※設定した内容はメンテナンスモードのLiveビュー画面には反映されません。
⑦ Resetをクリックすると初期設定値が表示されます。

※参考（FHD）



	FullSize	FHD	HD	VGA
Left	0	384	704	1024
Top	0	432	612	732
Width	2688	1920	1280	640
Hight	1944	1080	720	480

7.3 画像調整(回転、反転)

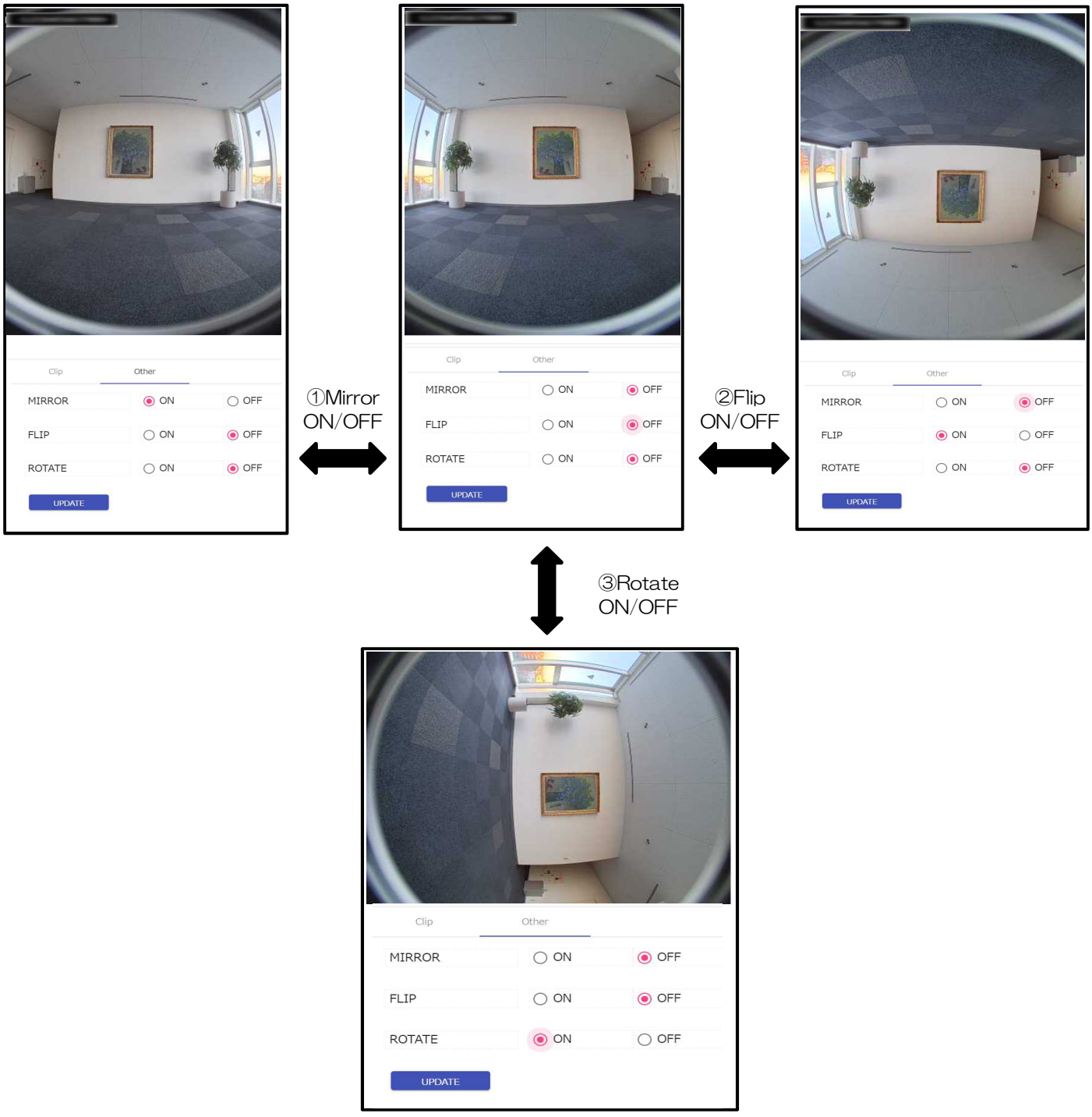


① Video&Audioのタブを選択します。
② Imageのタブを選択します。
③ Otherのタブを選択します。
④ 調整したい項目のOn/Offを切り替えます。
　Mirror　：左右反転
　Flip　　：上下反転
　Rotate　：回転
⑤ Updateをクリックし、設定反映完了します。

7.4 各項目の切り替え時の画像

① MIRROR　　：左右反転
② FLIP　　：上下反転
③ ROTATE　　：回転

※参考



※　画像処理を行うため、動画録画のFPSに影響を与える場合がございますので、
FPSをご確認の上ご使用ください。

8.メンテナンスモードログイン時のUser NameとPasswordの変更



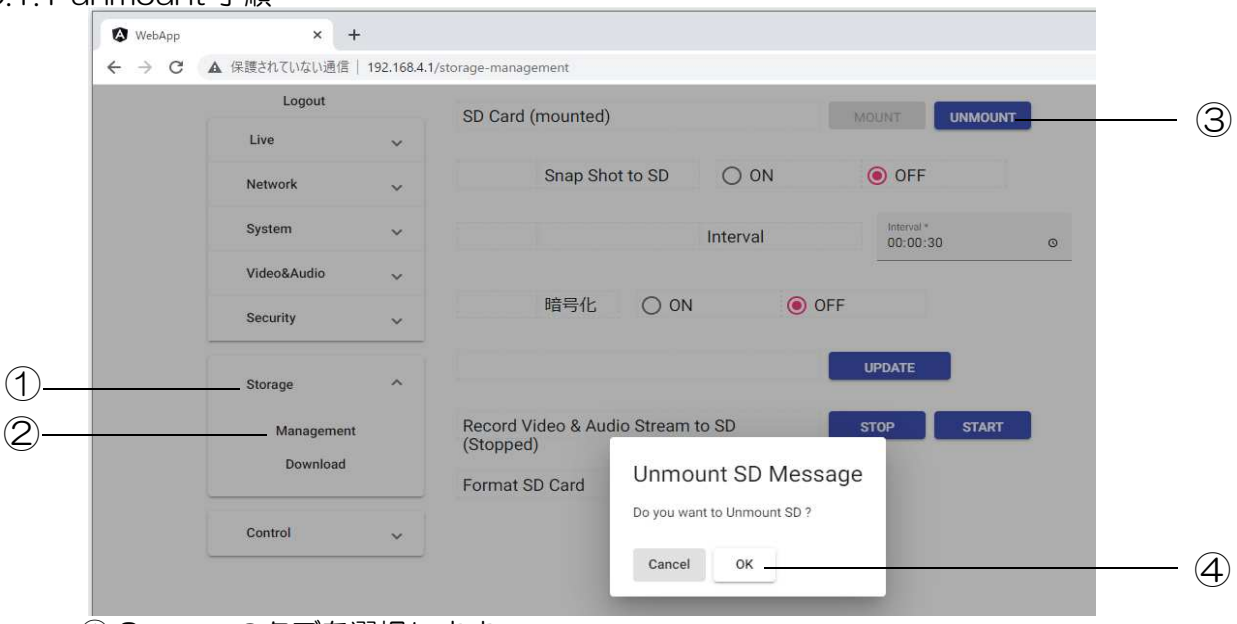
① Securityのタブをクリックします。
② User Accountのタブをクリックします。
③ 希望のUser Nameを入力します。
④ 希望のパスワードを入力します。
※User Name、Passwordの文字入力規定はP.30「文字入力規定」をご覧ください
⑤ Confirm Passwordに④で入力したPasswordを入力します。
⑥ Updateをクリックして設定反映完了します。
次回以降のログイン時のUser Name、Passwordが変更されます。
※Password欄とConfirm Password欄の入力内容が異なる場合、
Updateをクリックすることできません。

9.録画設定およびデータの取り扱い

9.1 microSD Cardのmounted、unmounted

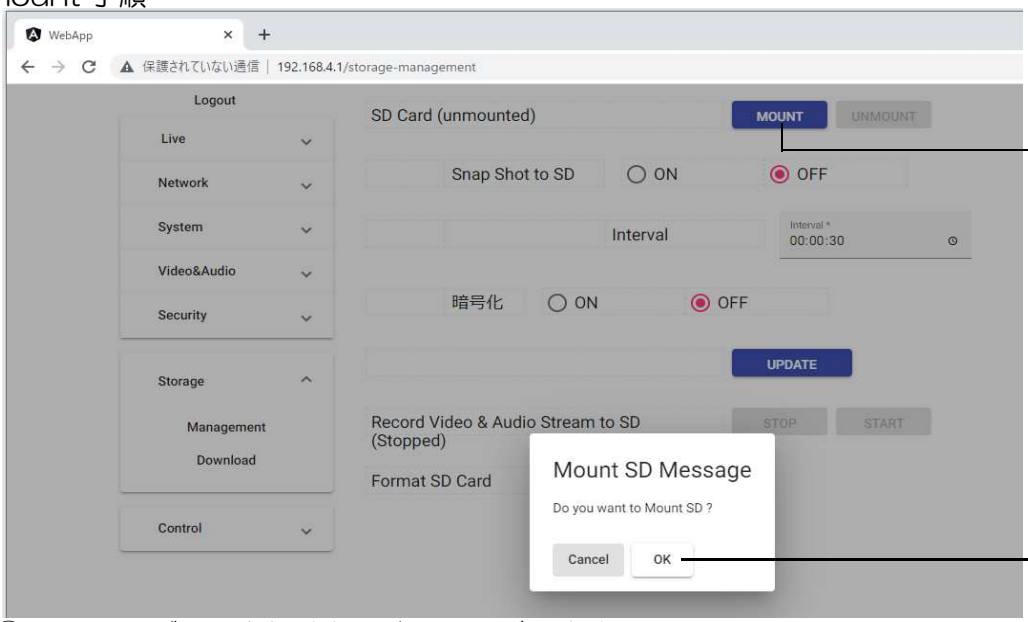
電源on状態のカメラからmicroSDカードを取り出す際は、本項を必ず実施してください。

9.1.1 unmount 手順



① Storageのタブを選択します。
② Managementのタブを選択します。
③ UNMOUNTボタンを押すと、確認画面が出ます。
④ OKを押すと、SDカードがUNMOUNT状態になります。

9.1.2 mount 手順

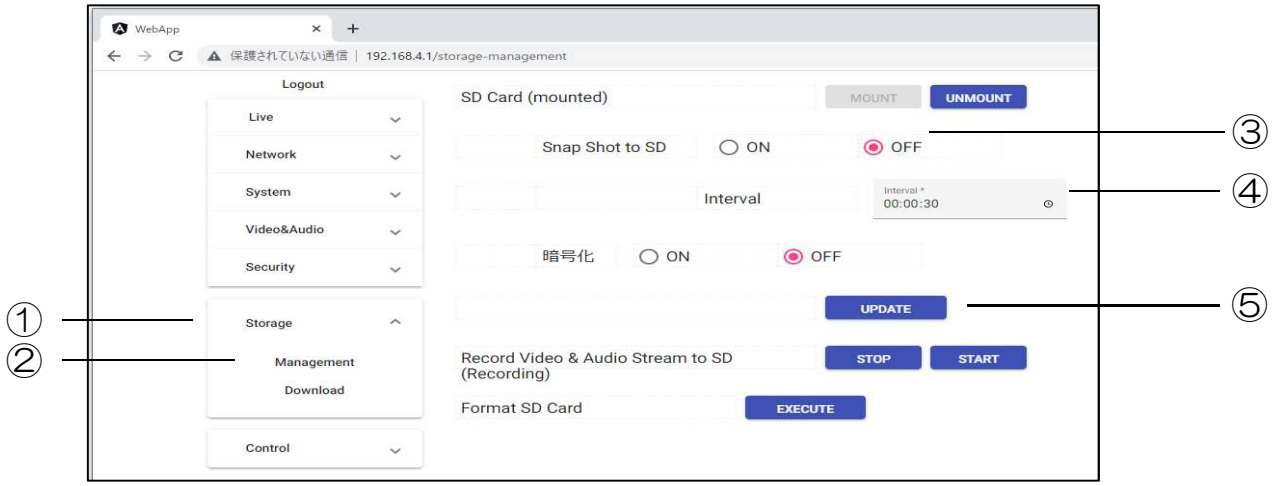


⑤ MOUNTボタンを押すと、確認画面が出ます。
⑥ OKを押すと、SDカードがMOUNT状態になります。

9.録画設定およびデータの取り扱い

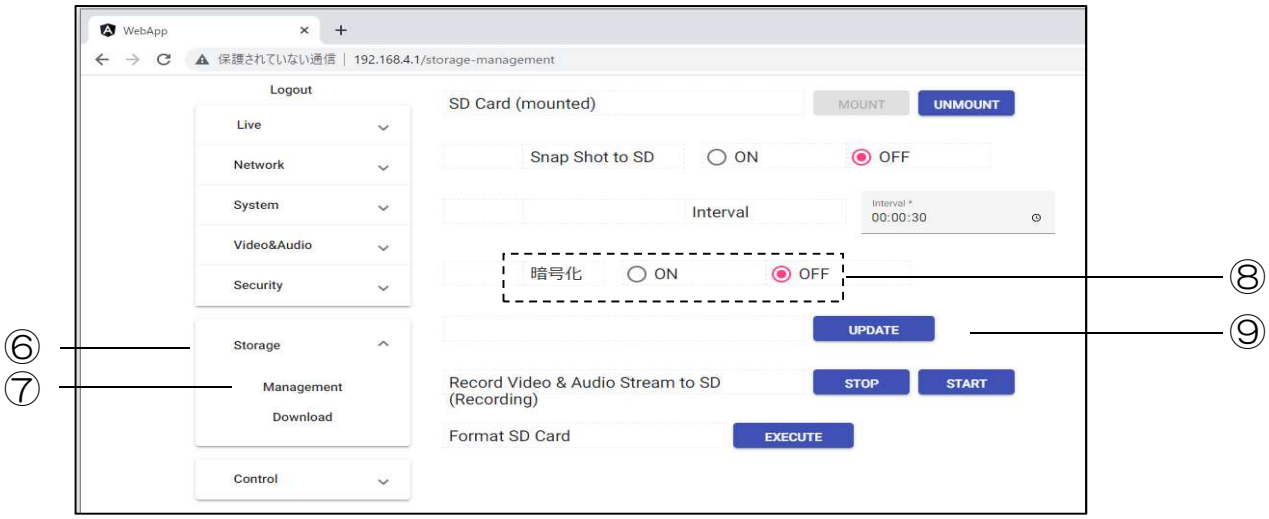
9.2 スナップショットの設定

※　本機能はオプション機能となります。詳細につきましては別途ご相談ください。



① Storageのタブを選択します。
② Managementのタブを選択します。
③ Snap Shot機能のOn/Offが設定できます。
④ Interval(撮影間隔)を設定します。
⑤ Updateボタンを押すと設定が適用されます。

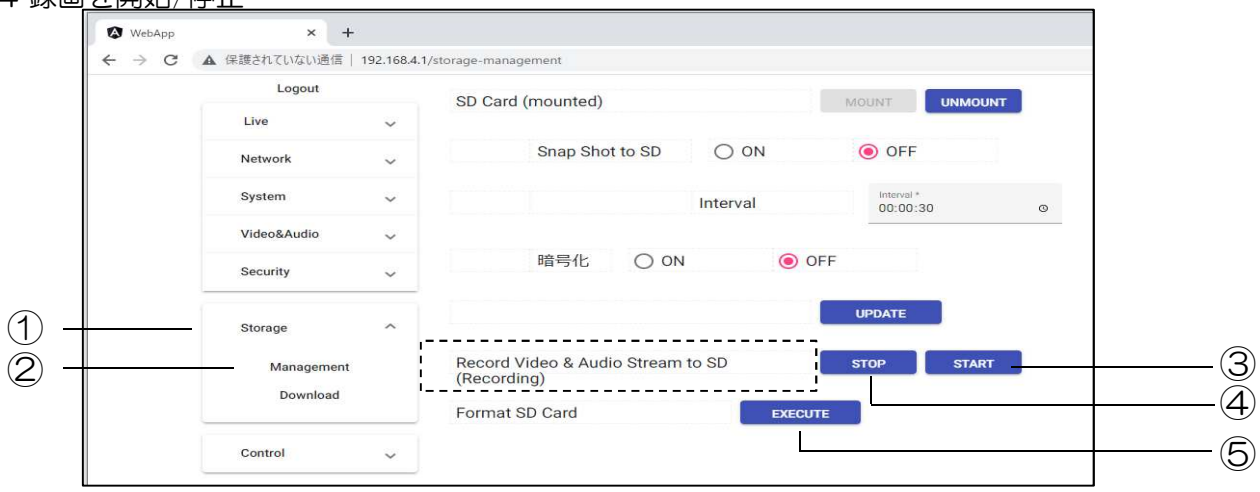
9.3 暗号化機能の設定



⑥ Storageのタブを選択します。
⑦ Managementのタブを選択します。
⑧ AES暗号化Onまたは暗号化Offの設定したい状態にチェックします。
⑨ Updateボタンを押すと設定が適用されます。

9.録画設定およびデータの取り扱い（つづき）

9.4 録画を開始/停止



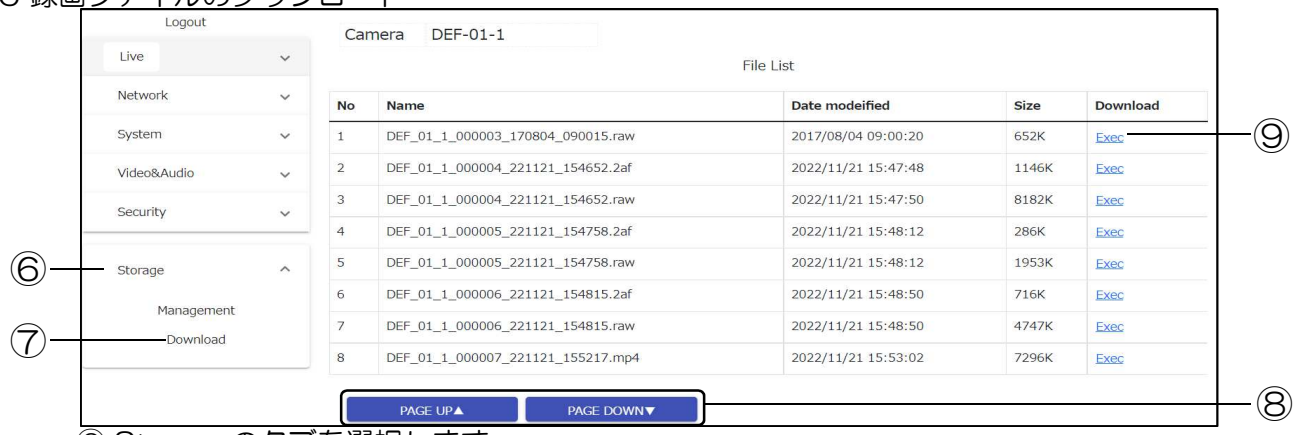
① Storageのタブを選択します。
② Managementのタブを選択します。
③ STARTをクリックすると録画が開始します。
　→録画中はRecord Video & Audio Stream to SD″(Recording)″と表示されます。
④ STOPをクリックすると録画が停止します。
　→録画停止中はRecord Video & Audio Stream to SD″(Stopped)″と表示されます。
※電源投入時は自動で録画を開始します。
　録画停止は④を、録画開始は③をクリックしてください。
　停電などで電源が落ちた場合は電力復旧後、自動で録画を再スタートします。

※時刻がずれている場合に録画されたファイルは、SDカードの記憶容量が少なくなると
　自動的に古い時刻に録画されたファイルが消去される場合がございます。
　録画機能をご使用するにあたり、必ず時刻があっていることをご確認ください。

9.5 録画データの削除(microSDカードのフォーマット)

⑤ EXECUTEボタンをクリックすると、microSDカードのフォーマットを行い、
　録画データを全て削除します。

9.6 録画ファイルのダウンロード



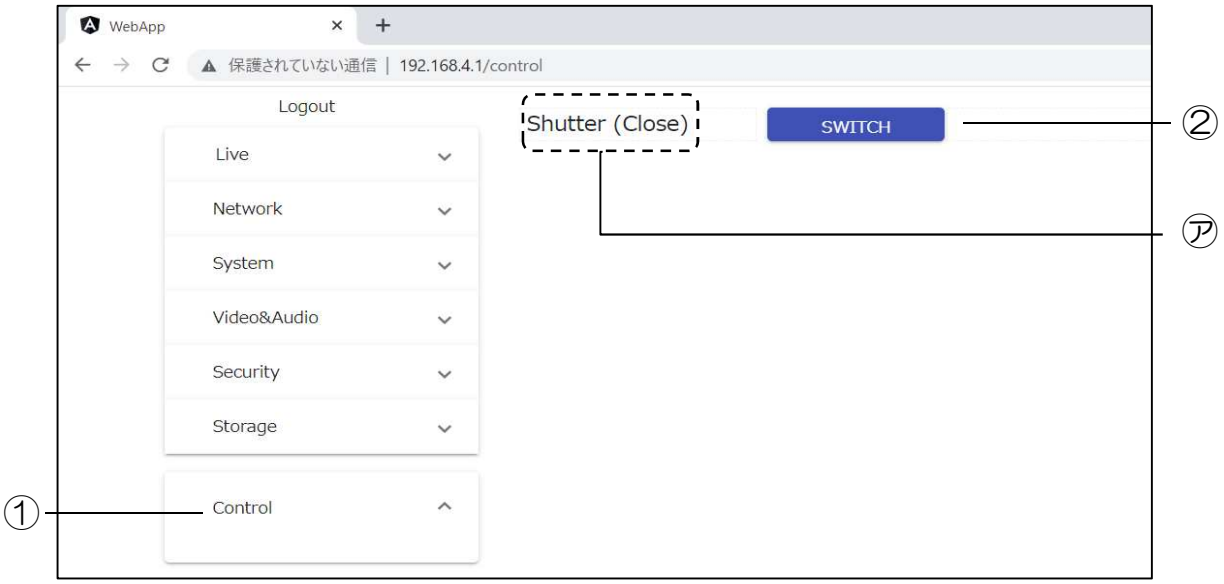
⑥ Storageのタブを選択します。
⑦ Downloadタブを選択します。
⑧ Page Up/Downでファイルのページを変えることができます。
⑨ Execをクリックすると録画ファイルをダウンロードします。
　※Nightモード中は動画ファイルのダウンロードはできません。
　※動画ファイルのダウンロードをキャンセルした場合、その処理に時間がかかる場合があります。
　※録画データのダウンロード中に、別の録画データのダウンロードは実行しないでください。

各拡張子のファイル情報
mp4　非暗号映像ファイル
raw　暗号化映像ファイル
2af　暗号化音声ファイル

10.プライバシーシャッタの操作

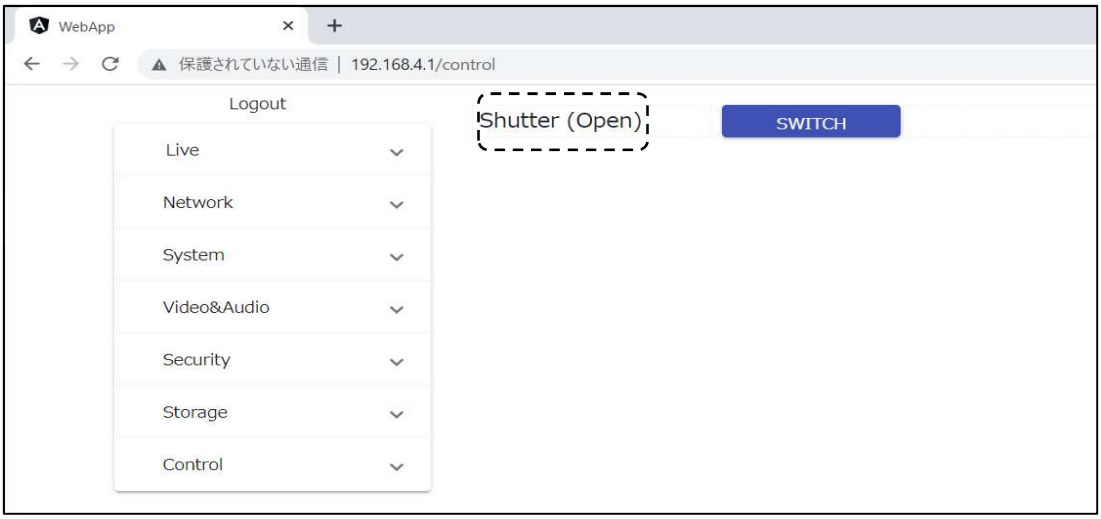
※本ページの内容は、SPIモデルのみ有効となります。

プライバシーシャッタ操作画面



① Controlのタブを選択します。
② SWITCHをクリックするとプライバシーシャッタが動作します。
※㋐の部分に現在のプライバシーシャッタの状態が表示されます。
Shutter(Open) :プライバシーシャッタが開いている状態です。
Shutter(Close) :プライバシーシャッタ閉じている状態です。

以下は、プライバシーシャッタが開いているときの画面です。



11.各種入力規定

ログイン、パスワードなど以下の項目を設定する際の文字規定は下の表に従ってください。

項目		メンテナンスモード	
		文字規定	文字数制限
ログイン	User Name	半角数字、半角英字（大文字・小文字）、!%-@_^	4～16文字
	Password	半角数字、半角英字（大文字・小文字）、!%-@ ^	4～16文字
ネットワーク（AP 2.4G）	SSID	半角数字、半角英字（大文字・小文字）、-_	1～32文字
	PASSWORD	半角数字、半角英字（大文字・小文字）	8～63文字
ネットワーク（AP 5G）	SSID	半角数字、半角英字（大文字・小文字）、-_	1～32文字
	PASSWORD	半角数字、半角英字（大文字・小文字）	8～63文字
ネットワーク（STA）	SSID	-	1～64文字
	PASSWORD	-	1～64文字
CameraName	機器名１	半角数字、半角英字（大文字・小文字）	１～6文字
	機器名２	半角数字、半角英字（大文字・小文字）	２文字
	機器名３	半角数字、半角英字（大文字・小文字）	１文字

12.mp4動画データの再生方法（**非暗号録画データの場合**）

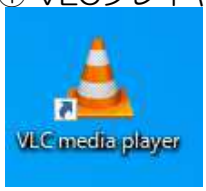
本項では、カメラからダウンロードした動画データの再生方法について記載しています。

動画の再生には推奨再生ソフトのVLCプレイヤーを使う手順を記載しています。
VLCプレイヤーは下記URLよりダウンロードして導入ください。
また、VCLプレイヤーは、ver3.0.7.1 以上を使用してください。
https://www.videolan.org/vlc/index.ja.html

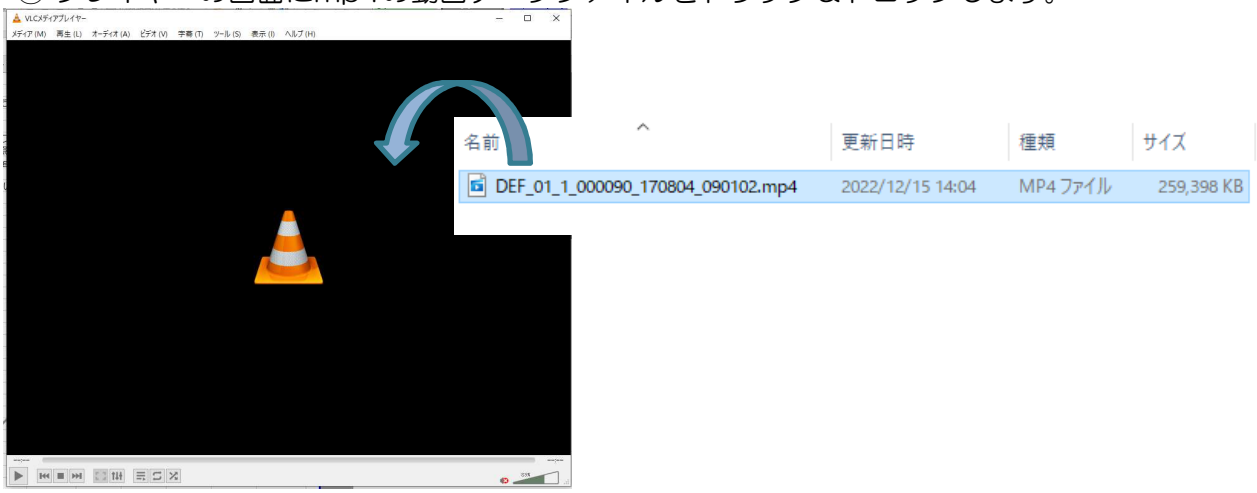
カメラから動画データをDLする方法については、P.28をご覧ください。

■カメラからダウンロードした動画データの再生手順

① VLCプレイヤーを起動します。



② プレイヤーの画面にmp4の動画データファイルをドラック＆ドロップします。



③ 動画データが再生されます。
動画が再生されるまでに、数秒程度かかる場合があります。
※下画像は、SPIモデルでの撮影画像となります。



※　暗号化されていないファイル(mp4)の再生方法です。
暗号化されたファイルは別途復号する必要があります。
別紙暗号化ファイルの再生方法をご覧ください。

13.ネットワークストリーム再生方法

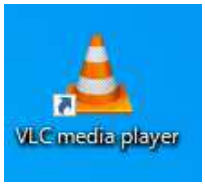
本項では、カメラが撮影している画面をVLCプレイヤーで再生する方法について記載しています。

VLCプレイヤーは下記URLよりダウンロードして導入ください。
また、VCLプレイヤーは、ver3.0.7.1 以上を使用してください。
https://www.videolan.org/vlc/index.ja.html

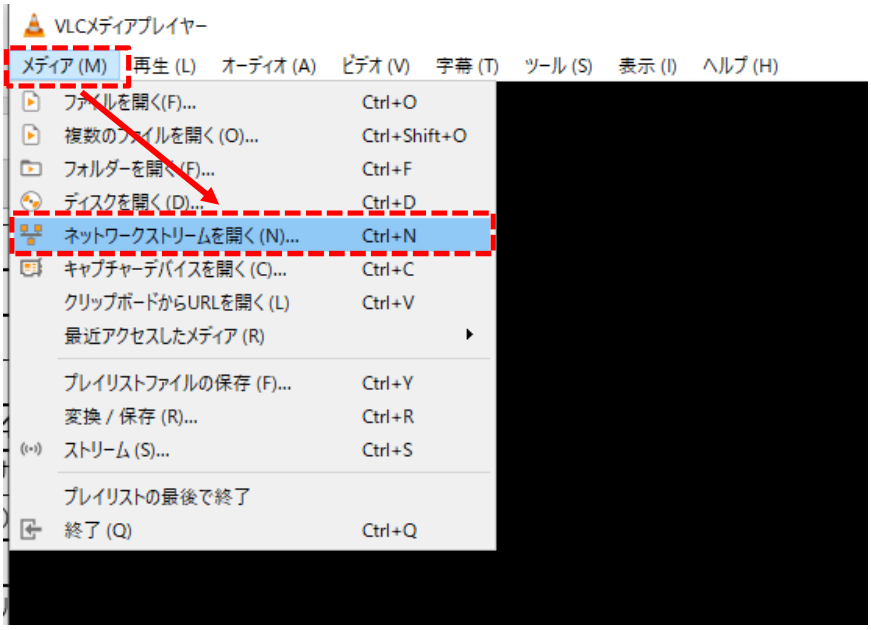
13.1 認証モードなし設定での再生方法

認証モードの設定方法については、P.18をご覧ください。

■ネットワークストリームの再生手順
① VLCプレイヤーを起動します。



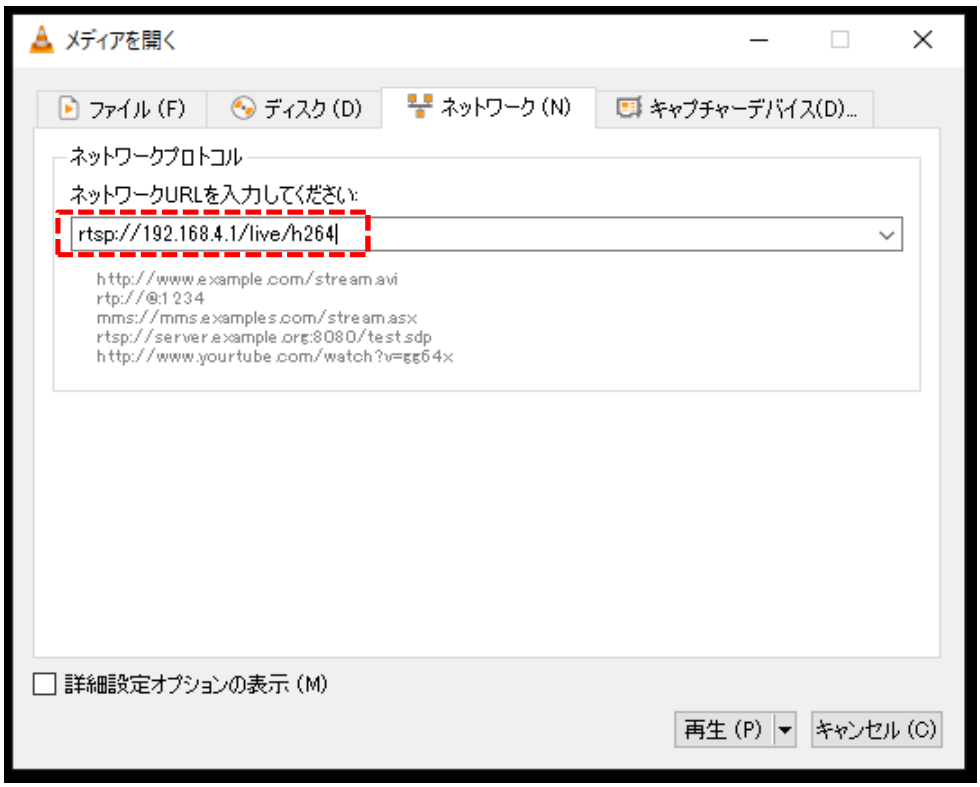
② メディア⇒ネットワークストリームを開くを選択します。次頁へ続きます。



※音声の配信はできません。
※画像切り替え時などに、短い雑音が発生することがありますので、
VLCのVolumeはOFFにしておいてください。

③ ネットワークURLを入力します。入力形式は下記になります。
rtsp://（IPアドレス）/live/h264
APモードのIPアドレスは、192.168.4.1　です。
STATIONモードのIPアドレスは、設定値を入力してください。

下画像の赤点線枠は、APモードで再生する場合の入力例です。



④ カメラの映像がVLCプレイヤーで再生されます。
映像が表示されるまでに、数秒程度かかる場合があります。
※下画像は、SPIモデルでの撮影画像となります。



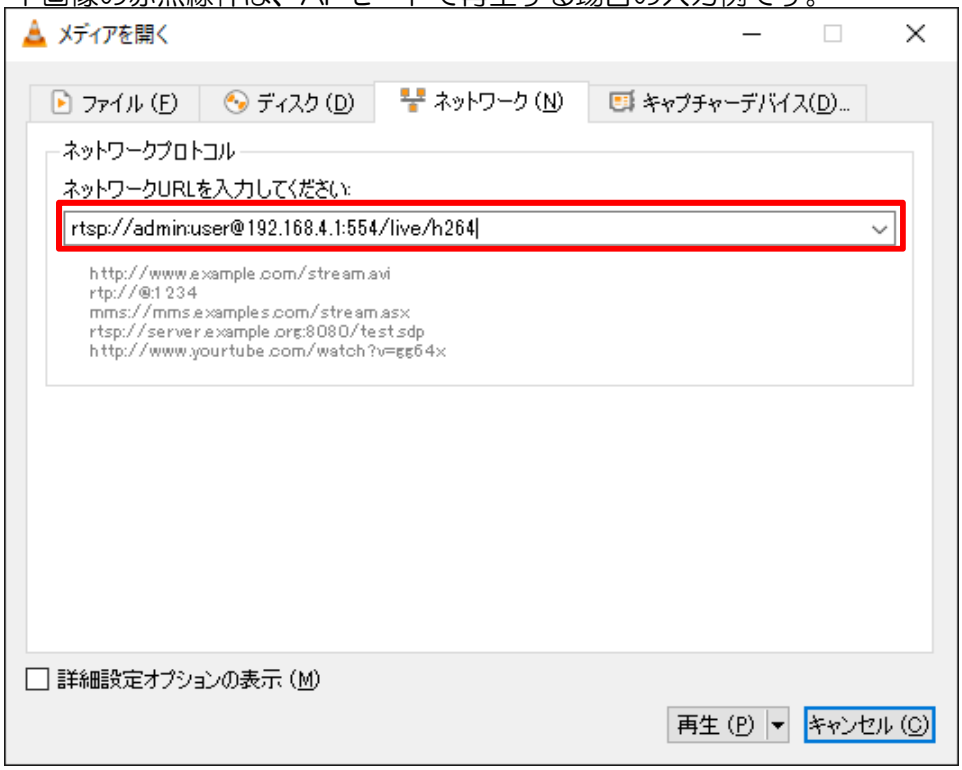
※音声の配信はできません。
※画像切り替え時などに、短い雑音が発生することがありますので、
VLCのVolumeはOFFにしておいてください。

13.ネットワークストリーム再生方法（認証モードでの再生方法について）
13.2 認証モードあり設定での再生方法

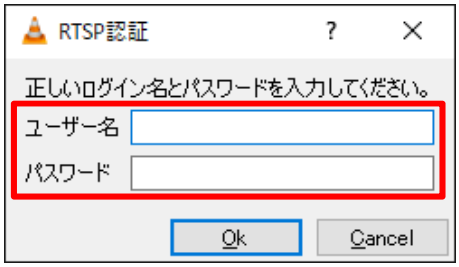
ネットワークURLに rtsp://ユーザー名:パスワード@IPアドレス:ポート番号/live/h264 を入力。
※ユーザー名とパスワードはメンテナンスモードのログイン画面で入力する内容と同じです。

例）APモード、ユーザー名/パスワード/ポート番号がデフォルト設定の場合
rtsp://admin:user@192.168.4.1:554/live/h264

下画像の赤点線枠は、APモードで再生する場合の入力例です。



ネットワークURLにユーザー名/パスワードを含めない場合、以下のポップアップが表示されます。
そちらにユーザー名/パスワードを入力する事でも再生可能です。



14.microSDカードについて

14.1 推奨スペック

本製品に使用するmicroSDカードの推奨条件は下記になります。
また、録画耐性を考え、産業用をお勧めいたします。

推奨容量：　32G/64G/128G/256G
※上記４種類の容量を検証しております。

推奨スピードクラス：10以上

推奨microSDカード
Verbatim社　　EMSD-A32S/A64S/A128S/A256S

Format形式
32G　　FAT32
64G/128G/256G　ExFat

※弊社では実際にmicroSDカードを使って長期エージング評価を行っておりますが
録画されたデータを保証するものではありませんのでご注意ください。
また、本機は最大1TBまでのmicroSDカードに対応していますが、全てのmicroSDカードの
動作を保証するものではありません。

14.2 microSDカードの録画時間目安

下表は、128GBのmicroSDカードを使用して、風景変化の少ない映像を撮った際の
録画時間の目安となります。
1ファイルあたりの録画時間は約30分です。

ファイル形式	音声	ファイル容量	録画時間
非暗号	有	290 MB	約8.5 日
	無	250 MB	約10 日
暗号	有	290 MB	約8.5 日
	無	250 MB	約10 日

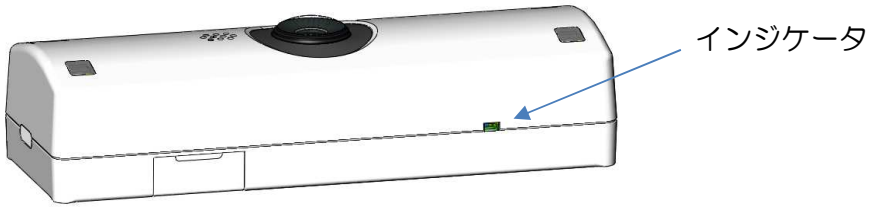
電源を抜いた際に録画しているファイルは、破損して再生できなくなる可能性があるため、
必ず、電源を抜く際は、メンテナンスモードより、録画停止ボタンを押すことを推奨致します。
録画停止の方法については、P.28をご覧ください。

本カメラを長期運用する際は、使用前にmicroSDカードの初期化をお願い致します。
もしくは新品のmicroSDカードのご使用をお願い致します。

15.インジケータの詳細

15.1 インジケータ緑点灯時のカメラの状態

カメラのインジケータの場所は下図をご確認ください。
また、カメラ状態に対するインジケータの点灯については下表をご覧ください。



LED色	インジケータの状態	カメラの状態	点灯時間
緑	点灯	正常状態	常時
	点滅	動画ファイルダウンロード中	500ms・On/Off　1秒周期
	消灯	ファームウェアアップデート中	―

15.2 インジケータ赤点灯（エラーモード）時のチェック項目

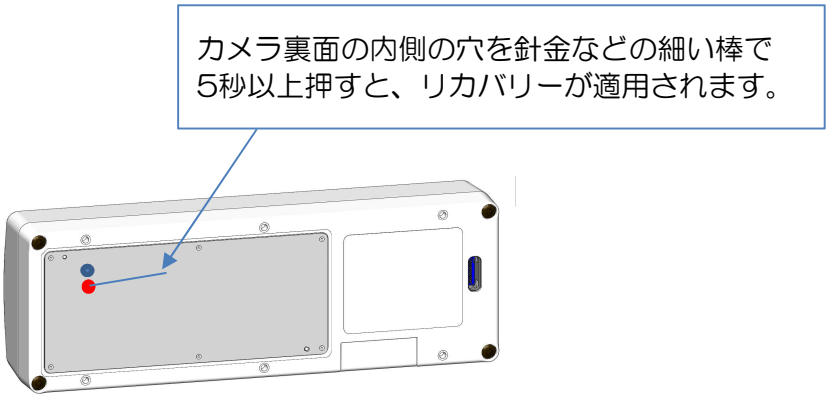
カメラのインジケータが赤色に点灯、又は、点滅している場合は、
エラーモードの状態となります。
下表の赤色LEDの点灯状態に対応するご確認をお願い致します。

LED色	インジケータの状態	確認内容
赤	点灯	①.microSDカードは正しく挿入されているか確認ください。 ②.microSDカードを交換してエラーが改善するかご確認ください。 上記の確認を数回しても、状態が改善されない場合は、 購入先へご連絡ください。
	2回点滅	
	上記以外の点滅	①.電源のOff/Onによる再起動でエラーが改善するかご確認ください。 上記の確認を数回しても、状態が改善されない場合は、 購入先へご連絡ください。

16.工場出荷状態への戻し方

工場出荷状態へ戻す際は、専用放熱取付アタッチメントを取り外して、
以下の手順をおこなってください。

カメラの電源Onされている状態で、下図に記載の内側の穴へ
針金などの細い棒などを使ってボタンを5秒以上押すと、リカバリーが適用されます。



17.製品の仕様

撮影用カメラ	撮像素子	500万画素　CMOSイメージセンサ
	フレームレート	5/10/30(MAX) FPS 暗号化録画は5FPSのみとなります。 MAX約３０FPSですが、サイズやRotate等画像処理の条件でFPSが落ちる場合がございます。 10/30FPS時、Nightモードはありません。
	視野角	水平：190度/垂直：140度（SB、SI） 水平：140度/垂直：110度（SPI）
	F値	2.0
	最低被写体照度	0.5lx（Dayモード）
録画画素数		Full size：500万画素（2688*1944） Full HD ：200万画素（1920*1080） HD　　：90万画素　（1280*720） VGA　　：30万画素　　（640*480）
ビットレート		約1.1Mbps
webページプレビュー		MJPEG
録画圧縮		録画mp4（H.264）、静止画JPEG
録画トリガ		常時録画/メンテナンスモードからのstart-stop
HDR		74dB（撮像素子）
対応外部記憶媒体（別売）		microSDカード　32GB～256GB
記録データ		映像ファイル
音声録音		有り
外部映像出力		なし
電源条件		5V±5%/2.4A（推奨）
カメラ電源インターフェイス		USB Type C コネクタ
電源用USBケーブル（別売） インターフェース、ケーブル長		カメラ接続側：USB Type C USB電源側　：USB Type A ケーブル長　：1m（推奨）
動作温度範囲		0℃～+40℃
サイズ		幅120*高さ28.6*奥行41[mm]（本体）
		幅124*高さ31.6*奥行52[mm]（アタッチメント
重量		カメラ本体（SB、SI）　　：110g 専用放熱取付アタッチメント（付属品）：45g
保証期間		納入後　6ヵ月以内
無線通信周波数		2.4GHz/5.0GHz
無線通信 チャンネル数	AP/Station	2.4GHz ：1～13 5.0GHz ：36、40、44，48（W52） ※
音声圧縮		mp2
暗号化記録　拡張子		映像：.raw、音声：.2af
通常記録　　拡張子		mp4
通信プロトコル		HTTP、RTSP、NTP
ワイヤレスLAN規格		IEEE802　11.b/g/n/ac
ワイヤレスLAN暗号化		WPA2PSK-AES 2.4G/5G

本製品は、日本国内でのみ使用可能です。
日本以外の国で本製品を使用した場合、全てユーザーが責任を負うことになります。

※ 本製品の5GHz帯は、屋外で使用しないでください。
　製品を屋外で使用する場合は、2.4GHz帯をご利用ください。
　法令により、5GHz帯を屋外で使用することは禁止されています。

18.用語集

用語	説明
APモード	カメラとパソコンを無線で接続し操作するモードです。
Dayモード	昼間撮影モード 照度センサーによって自動で切り替わります。
Nightモード	夜間撮影モード 赤外LEDが点灯し、暗がりでの撮影ができます。 照度センサーによって自動で切り替わります。
Rectilinear	魚眼補正 映像のゆがみを補正します。
Stationモード	アクセスポイントを介し、カメラと接続するモードです。
AES	暗号化の方式です。

19.FAQ

No.	Question	Answer
1	電源投入時にジジッという音がする	機構のイニシャライズ動作音になります。 問題ありません。
2	電源を切ってもLEDが消えない	カメラ内で電源OFFの処理を行っています。 5秒程度お待ちください。 また電源の再投入はLEDが消えてからお願いいたします。
3	電源を投入しても インジケータのLEDが点灯しない	カメラ-USBケーブル-USB電源-コンセント間が しっかり接続されているか再度ご確認ください。

20.変更履歴

版数	日付	項目番号	変更内容
1.0	2023/1/11	-	初版
1.1	2023/1/20	-	新規ページ追加によるページ番号修正
		P.1、P.7	新規ページ　追加
		P.4、P.34	注意書きを追加
		P.6	ページ分割のために記載レイアウトを変更
1.2	2023/3/13	-	新規ページ追加によるページ番号修正
		P.6、P7、P.9	外観イメージ図　変更
		P18、P26	新規ページ を追加
		P.27、P.28	webページ画像　変更
1.3	2023/4/3	-	NIDEC PRECISION CORPORATIONへ社名変更